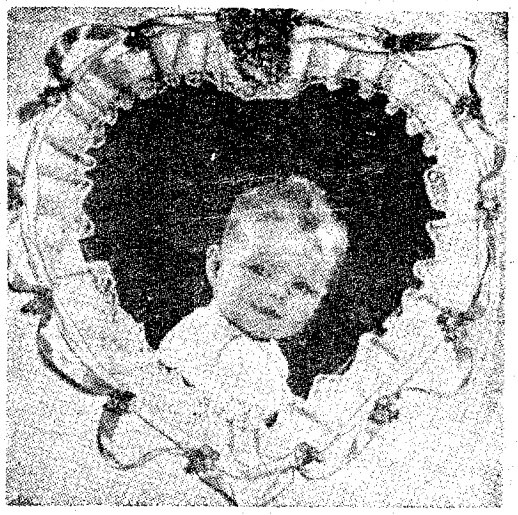
聖徒の道

一九五八年三月十七日第三種郵便物認可（毎月一回一日発行）
第三巻第二号　一九五九年二月一日発行

末日聖徒イエス・キリスト教会



聖徒の道

目次

一九五九年二月号

【大管長メッセージ】
放蕩むすこの話 …… デビド・O・マッケイ …… 1
【伝道部長メッセージ】
貴方に望む …… ポール・C・アンドラス …… 6
系図のページ
何故系図研究をするか …… セント・ジョージ神殿の献堂式の祈禱 …… 30
武内姉妹系図テキストをハワイへ
「大管長会からのクリスマス・メッセージ」 …… 8
挽まむかシオンの子(下) …… マーク・B・ピータソン …… 11
極東に於けるモルモン
私の改宗と体験 …… 渡辺寛 …… 13
私の改宗 …… 大塚昌治 …… 15
信仰と証詞
鈴木なみ姉妹の証詞 …… 横浜 …… 渡部正雄 …… 17
信仰の木 …… 札幌 …… 西嶋吉春 …… 18
ニュース欄
地方部評議員に傑推兄弟任命さる …… 30
横浜支部の年末年始 …… 30
ハワイに当教会の大学献堂さる …… 31
旭川支部より …… 32
バザー成功裡に開く …… 32
本部の電話番号変更 …… 32
伝道本部より …… 33
「表紙の説明」リチャーズ考一副管長 …… 16
モルモン経物語(十六) …… エマ・マー・ピーターソン …… 20
ロンドン神殿献堂式(2) …… ドイル・L・グリーン …… 34
編集言。俳句・特別のお知らせ …… 36

大管長メッセージ

放蕩むすこの話

デビド・O・マッケイ

これまで人の耳に入つている中で一番深い印象を与えるたとえ話は放蕩むすこの話である。私はあなた方がその話を教えのために用いるように、また警告として利用するように今それをあなた方に思い起してもらおう。さて、その話を調べてみよう、或る時二人のむすこが生命と同じくらい貴重な選り抜きの贈り物を持つていた。一人のむすこは何が不満足にさせたか知らないが、自分の環境を不満に思つて父親の家を出ることに決めた。話によると、そのむすこは弟の方であつたから、おそらく思慮分別が未熟であつたと思われる。このむすこは明らかにいわゆる自由を得んことを、また言わば羽をのばしてみたいと切に願つたのである。従つて、このむすこは「父よ、財産のうちわが受くべき分をわれに与えよ」と言つた（ルカ伝十五章十二節）。父がそのむすこの受けるはずの分を与えると、むすこは国を出て行つた。

ここに意志の作用を示す場合が一つある。ここに選択すなわちよく考えた上の選択がある。またここに或る意味で権威に対する反逆がある。

さて、その若者が没落するもととなつたと私が思つている五つの事をよく考えて見よう。

第一 制止に際してのいら立ち。これは青年に見られる最も普通の経験であつて、おそらく私たちの中にも昔の事を胸に浮べて、いくらかこのような感情を持つたことを思い出すことのできる者があるであろう。私はこのような感情を抱いたことを思い出すかも知れぬ人々が、同時にまたその父か母かに向つて非難の言葉をかけたことを思い出すことのないように希望する。また私はその父か母かを非難しようと思つたことさえもなかつたように希望する、何となればそれはそのような考えを一生涯抱いた人の身についてて離れないにちがいないからである。

おそらく私たちの両親は、附添なしにパーテイに行つてくれるなと私たちに言つたことがあるであろう。私たちは、自分の両親よりももつとよく知つていると思つたからその言葉に対して憤慨した。あの

放蕩むすこもこれと同じことを感じた。いろいろな事は、彼が思うようには処理されなかつた。そこで彼は「この財産の一部は私のものだ」と考えた。「私の受け取る分を与えよ。私は自分で管理する」と彼は言つた。

第二 うぬぼれ。高等学校や大学の学生たちが、潜越にも自分が他の者よりも知識が優れていると称するのは普通のことである。あの放蕩むすこもまたちようどこのような尊大な態度をとつた。彼が失敗に向う第二歩は全くうぬぼれであつた。

浪費は悪徳である

第三 浪費。あの放蕩むすこはその仲間の好意を得るのに充分な富と機会とを持つていた。彼は誰とでも仲良しになるような人間になることができ、賞め上げられ、お世辞を言われ、得意がられたので、彼は途方もなくむだ費いをしたが、それは悪徳である。

人生に於ける大きな教訓は、収入以内の支出をすることである。この小さなことを実際に行うことが成功を収めるために如何に必要であるか、また収入よりも大きな支出をする人にとつてまたは商売にとつて如何に早く失敗が来るかは驚ろくほどである。私は今投資のことすなわち教育や財産に於ける投資のことを言つているのではない、私は賢明でない消費のことを言つているのである。

成功を収めた多くの人たちは、学業を修めている時に節約をしなければならなかつた。私は先日、一日一食で生活してついに世界最大の科学者になつた人のことを読んだ。私は、私がウェーバー学院の院長をしていたときに親友であり仲間であつた一人の人のことを思つている、この人は柔らかい寝台の代りに堅い木の板の上に眠り教師をしている間乏しい食事を自分で調えていたが、ついにわが教会の主な教育施設の一つの長となつた。

第四

不節制。酒、タバコ、興奮剤などに耽ることはありもしない喜び、ありもしない成功などの印象を心に与える。あの放蕩むすこは現代の若い男女が知らないと同じように、これらの有害なものが家をこわす時にダイナマイトが役に立つことがあるように肉体にとつてほぼ同じ程度に破壊的に役立つことを知らなかつた。

チャールス。ワグナーはその著「簡易生活」の中で君らの欲求をして君らを支配させ、甘やかして見よ。さらば、これらの欲求は日なたに於ける虫けらの如く殖え増すことを君は知るであろう。彼らに与えれば与えるほど彼らは要求する。物質的繁栄の中にだけ幸福を追求する者は無意味である。われわれの欲求は、彼らが当然あるべき僕べとなる代りに騒々しい煽動的な群集となり小規模の暴君となつている。彼の欲求の奴隷になつている人は、意のままに引き廻されておどらせられる鼻輪をつけた一匹の熊にくらべることができる。この類似は君を喜ばせてはいない、しかし君はそれが本当であることを認めるにちがいない。

第五

放蕩な生活。この若者すなわち伝えられているところの放蕩むすこは、その財産を浪費し放蕩な生活によつて彼の性格を弱くした。その結果として彼は豚飼いをする身となつた。救い主はその職業を最も下等な職業としてお取り扱いになり、イエスの話を聞いた人々も全くその通りであると認めていた。

この放蕩むすこは人生に於ける完全な落伍者であり、一人の若者が食欲を満たし情欲を喜ばせるだけのために生きている動物の生活へ如何に速く身を落すことができるかという良い実例である。知的の大望、真善美に対する愛、そのほか親切、思いやり、同情というような人生を快よくし健康にする心の特質すなわち人の心の最も神聖な特質を含んでいる霊の領域を認識する彼の力は弱まつた。

食欲と情欲に耽り始める青年が背教へ一路転落して行つていることは、太陽が東から昇るのと同様に

確かである。私はこの言葉を青年の身の上に限らない、不節制または放蕩な生活という道をたどり始める如何なる男女も、昼につづいて暗黒が来るように必らず神の羊の群から離れるにちがいない。

悪漢でなければ愚か者

「わが『みたま』常には人を励まさじ」（創世記六章三節）と主は宣うた。主の「みたま」は汚れた殿の中に住みたまわないと、すでに主は仰せになつた。彼の誓約を破つて二重生活をしようとする者は「悪漢でなければ愚か者」である。彼はその情欲を満すために、放蕩な生活によつて彼の財産を浪費するために、また神殿の中で結んだ誓約を破るために彼の自由意志を用いているのであるから、彼は往々「悪漢でもあり愚か者でもある」。

私は当教会のすべての会員に次のように言いたい、すなわちもしあなたが成功したいと思い、幸福になりたいと思い、知的の肉体的のまた霊的の力を保存したいと思うならば、あなたの食欲とあなたの情欲とに恥ろうとする誘惑に抵抗して下さいと。それは福音の真理である、すなわち欲望に恥ることは強い青年や成人をつくらない、しかし抑制と克己とは強い青年や成人をつくる。それは心理学からも健全である、なぜならば克己は、動物のようにあなたの勢力を費すかわりに、知的にまた霊的に費す力と勢力とを一層多くあなたに与えるからである。純潔は強い成人をつくる。

あの放蕩むすこのように、肉体上成人であることと知性との中に神が与えたもうたものを浪費し始める者は賢い者ではない。

もしも世の教師たちや指導者たちが青年に訴えて、彼らを豚飼いにならないうちに「われにかえらす」ことが出来さえしたらどうであろうか。いかにも立派な業蹟ではないか。私は「われにかえりて」という句が好きである。今ここで「われにかえり」良い生活をする好機を立派に受け入れる若者（十頁に続く）

伝道部長メッセージ

今年一年で一人の人を我教会へ導きましょう

ポール・C・アンドラス

貴方に望む

先月私は日本に於けるわが教会の各支部に対する新しい脅威に就いて筆をとり、千九百五十九年中に千五百人の改宗者をわが教会へ加入させるように要求しました。私はまた、当伝道部の各地方部に属する支部が建築資金として七百万円を募金するようにも要求しました。また私は、アメリカ軍に属する末日聖徒イエス・キリスト教会の会員グループに、建築資金として七百万円に加えるにもう四百万円を募って、千九百五十九年の建築資金に対する合計の目標を一千百万円とするようにすでに要求いたしました。今月私は、わが教会へ多くの改宗者を加入させることについてもっとくわしく書くよう痛感して居ります。

私の意見によれば、神の真の教会が成長をする好機会は現今全世界を通じてこの北部極東伝道部がいかなる所よりも最もめぐまれて居ります。日本には九千二百万の民があり、大韓民国には二千五百万、また沖縄には百万の民があって、当伝道部の占めている範囲内には合計約一億一千八百万の民が住んで居ります。これらの人々の大部分はモルモン教会のことを聞く興味を持ち、またそれらの人々の多くはモルモン教会のことと私たちの信仰とを聞くときにわが教会に入ってくるにちがいありません。あなたは、わが教会の教えを研究する百人毎に一人が教会へ入ってくると信じませんか。私は心からそれを信じます。しかし、もしもこのことが本当であるならば、わが教会の教えを正しく説き聞かせられたときに教会へ入ってくる人々が、わが伝道部の占めている範囲内に現在唯今百十八万人あります。よしんば、一万人毎に一人だけがわが教会へ入ってくるとしても、モルモン教会の福音を聞くとすぐに教会へ入ってくる人々が、わが伝道部の占めている範囲内に現在唯今一万一千八百人あります。これまで述べたことをよく考えてみると、現在唯今この伝道部の教会のために存在している好機会の大きさをちょっと見ることができます。全く、これらの好機会は現在全世界を通じ

て最大のものであります。

しかしながら、今これらの大きな好機会を現在わが伝道部が収めている貧弱な結果と比べてみるときに、これらの大きな好機会が現在利用されていないことが悲しいまで明瞭であります。はっきり言えば

わが教会は当伝道部に於て当然生ずべき結果を生じないでほとんど全く失敗をして居ります。千九百四十八年に宣教師たちは再び日本へやってきて、約百人の日本人が元の伝道部からひきつづき信者として残っていることを発見しました。千九百五十八年の十一月三十日現在を以て、過去十年間に一年間平均二百五人づつ増加し、二千四十七人だけの日本人会員が日本に於ける記録にのって居りました。千九百五十六年の四月に、宣教師たちは始めて韓国へ行ってアメリカ軍に属する末日聖徒イエス・キリスト教会の会員によって改宗していた約七十人の韓国人会員を発見しました。千九百五十八年十一月三十日現在を以て、過去二年半の間に一年間平均百二十六人づつ増加し、三百十四人の韓国人会員がありました。また千九百五十六年の四月に、宣教師たちは始めて沖縄へ行って、アメリカ軍に属する末日聖徒イエス・キリスト教会の会員によって改宗していた三人の会員を発見しました。千九百五十八年十一月三十日現在を以て、過去二年半の間に一年間平均三十八人づつ増加し、九十六人の沖縄人の会員が沖縄にありました。現在存在している好機会を目前にして、以上の結果は本当に貧弱な結果であります。

では千九百五十九年の私たちの目標はどうですか。現在存在している好機会から考えると、これまで私たちはあまり低いところに目標を置いているではないでしょうか。現在存在している好機会から考えると、もしも私たちがこれらの好機会を今正しく利用しているならば一万人の改宗者が毎年教会へ入ってくるはずでありますから、私は個人として、毎年一万人が改宗させられるまでわが教会はこの伝道部でその力を充分に出しているとは思いません。私たちが持っている好機会を正しく利用するために、多くの集会所と学校の建物とが建てられなくてはなりません、またわが教会はラジオとテレヴィジョンによって全国に宣伝されなくてはなりません。以上の計画のすべてを一年間に完成することはできませんから、私たちは千九百五十九年中に一万人の改宗者がこの伝道部にあるわが教会に入ってくることを期待することはできません。しかし、全会員と宣教師とが心から身を入れて働くならば、千九百五十九年中にこの伝道部にあるわが教会に二千人の改宗者を入れることができると信じます。

貴方は今年のうちに一人の人を教会に入れることができますか。あなたの身寄りや友だちのことを考えてごらんなさい、確かにその中には教会へ入ってくる人が一人あるにちがいありません。あなたの一番近い身寄りや友だちの中から三人か四人を選んで、千九百五十九年が終らないうちにこれらの人々を教会に入れようと決心しなさい。これらの人々を特別に親切にし、また特別に思いやって、これらの人々に対するあなたの愛を示しなさい。これらの人々の心が開けて真の福音を受け入れるように祈りなさい。好い機会がある度にいつでも教会の教えをこれらの人々に説明しなさい。これらの人々が礼拝に出るように招き、また宣教師たちに紹介しなさい。あなたの生活はこの教会に入ったために祝福されてはいませんか。もちろん祝福されています。あなたは、この大きな喜びをあなたの身寄りや友だちに分け与えて下さいませんか。あなたは千九百五十九年中に一人の人を教会に入れることができますか。その通りできます、もしもあなたが心からやって見るならば。

ほんの数日前に、私は約二年前に改宗してこの教会へ入った韓国の或る兄弟から手紙を受けとりました。次はその兄弟の手紙からの抜き書きであります。

「私は回復された福音を研究して実行すればするほど幸福であります。私はこの福音に非常に満足していますから、この貴い教えを他の人々に弘めることを私自身に禁ずることができません。私はこの教会に入って以来、私の親しい友だちと近い身寄（十九頁に続く）

大管長会から全世界へのクリスマスメッセージ

President Paul C. Andrus
Northern Far East Mission
No. 14-2 Hiroo-Cho Azabu
Minato-Ku, Tokyo, Japan

Dear President Andrus:

Since some of the missions have asked for it, we are sending to the foreign missions the Christmas Message which the Deseret News has published, and which through the News will reach most of the States missions. A copy is herewith enclosed for publication or such other use as you may see fit to make of it.

Please be assured our heartfelt greetings at Christmas time go to all our brethren and sisters in the mission fields, and to all who labor so faithfully in the missionary service.

Very sincerely your brethren,

David O. McKay

Stephen L. Richards

J. Reuben Clark Jr.

The First Presidency

北部極東伝道部長
ポール・C・アンドラス様

数箇所の伝道部がクリスマスのメッセージを送るように頼んで居りましたので、デゼレト・ニュース紙上に発表されたクリスマスのメッセージを各外国の伝道部へ送ります。これはまたデゼレト・ニュース紙を通じて合衆国内の伝道部の大部分へ届くはずであります。発表をして下さるために或いは適当と思われる用に供して下さるために一部を同封しておきます。

クリスマスの時には、伝道部に属する私たちの兄弟姉妹一人のこらずに、また宣教師の仕事を非常に忠実に務めているすべての方たちに、私たちの心からの挨拶をどうぞ確かにお伝え下さい。

デビド・O・マツケイ
ステイーヴン・L・リチヤーヅ
ルーベン・クラーク・ジユニヤ

末日聖徒イエス・キリスト教会
大管長会から寄せられた
クリスマスの挨拶

それ神はその独子を賜うほどに世を愛したまえり、すべて彼を信ずる者の亡びずして永遠の生命を得んためなり（ヨハネ伝三章十六節）

デゼレト・ニュース紙の好意によって、また私たちはこのクリスマスの時期に於ける挨拶をわが教会の会員の皆様に述べる特権を受けて居ります。その降臨とその生涯とその導きと恵みとを施すこととその輝かしい数々の教えとが本当に私たちの信仰の基となっている御方の誕生を記念して、私たちはあなた方すべてと共に喜んで居ります。私たちはその御方の神性を証しすることをあなた方と共に喜ぶと同時にまた、啓示によって主イエス・キリストの御名を帯びている偉大な教会の会員であることをあなた方と共に心の奥にある謙遜な誇りとして居ります。

私たちは、私たちの父なる神の御業に関係している者たちすべてが今や終ろうとしている今年の中に収められた発展に対し深い感謝を捧げる理由があることに気づいて居ります。これまで会員は着々と増加して、二十一のステーキ部と二つの伝道部と百二十八のワード部と四十八の独立支部とが新しく設けられました。以上の新しいステーキ部の中で七つまでが教会の会員が多数集っている中心地から遥か離れた地域にある伝道部につくられたことは注目すべきことであります。教会の発展を示すおそらく最も顕著な証拠は、共に外国の地にある二つの神殿が新しく献堂されたことであります。私たちはこれがたった一年以内に二つの神殿が献堂されたわが教会史上最初の時であると信じて居ります。

神の王国の発展の中にはこのほか多くの具体的な進歩の証拠があります。これを書いている時に、わが教会史上かってない位多くの宣教師が外国の伝道部に働いていることと、各伝道部に於ける改宗者の数がおそらくこれまでの年に於ける改宗者の数を超えるにちがいないということをいろいろな記録が示して居ります。私たちは各伝道部で働いている多くの宣教師を支えている宣教師の家族方や、そのほか惜し気もなく助けを与えて居られる方々に対し私たちの感嘆と尊敬とを適切に表わすすべを知りません。大部分青年男女である献身的な宣教師たちは、世の人々たちに私たちの主のものである回復された福音を知らせたり証ししようと熱心に努めている故に、今や彼らの働きが報いられた果実を発見して居ります。これらの宣教師たちに惜し気もなく助けを与えている人々も、これらの良い報いを分ち与えられるにちがいありません。各神殿内の仕事は引きつづき進んでいます。もしも亡くなった私たちの血縁のために執り行われるこの惜し気もないキリストのような奉仕の利益を受けたことのある者たちが、皆立ち上って彼らの感謝の気持ちを表わすことができるならば、この奉仕を執り行っている人々の心を無限の満足と幸福とを以てみなぎらせる大群集の感謝の合唱があるでしょう。当教会の会員たちは、什分の一やその他の献金によって彼らの愛する福音への献身をますます証拠立てていますが、これらの献金によってすべて財政的の援助を必要とする当教会の驚ろくべき建築計画そのほか貧者や普通人の権利が受けられない人々の世話をする福祉の働き、当教会の経営する数々の教育施設、補助組織の働きのような数多くの目立った仕事が可能になっているのであります。正直に什分の一を納める人や物惜しみをせずに与える人は、教会をちょっと見廻すだけで彼の忠実さから流れ出る数々の結果が見えるのであります。

おそらく私たちが最も喜ばしいと認め得るものは、当教会の会員の内部にあっ

て絶えず強まりつつある霊的の力と解するところのものであります。会員たちのその指導者たちに対する忠誠、会員たちがその割当てられたいろいろの義務を忠実に遂行すること、指定された諸集会に出席をすること、当教会の大会に現われる会員たちの明白な興味、会員たちが聖なる神権者の助言を求めようとする明白な意向、会員たちの管理者に対する支持の祈り、そのほか多くの項目はみな主を知って主の誡命を履み行って行きたいという熱心な願望を示すのに役立っています。これが本当に正しい生活であります。

私たちの最も愛する兄弟姉妹よ、そこで私たちはクリスマスの時期にあなた方に挨拶を申し上げるわけであります。私たちの心は、私たちすべてにとって非常に大切である偉大な福音に対するあなた方の忠実な奉仕と変らない献身とを感謝する念で一杯であります、そして私たちはみな同じ福音を信ずる同僚の働き人であります。私たちは、私たちのためにまた当教会の幹部会の中にあるすべての同僚のために祈って下さるあなた方の祈りに対し深く感謝致します。私たちはいつもあなた方のために祈ることを、また特に肉体又は精神に悩みのある不幸な人々のために祈ることを保証致します。私たちはこれまでに誤りを犯した人々が悔改めをして赦されるように祈って居ります。私たちは、主の「みたま」がすべての人々に豊かに注がれて、なぐさめと健康と幸福と平和とをもたらすように祈って居ります。また私たちは、父母や家族の全員に対する健全な尊敬と共に愛があなた方の家庭に在るように祈って居ります。

私たちの関心と私たちの祈りとは当教会の会員だけに限られては居りません。私たちは、人類が皆神の子であるという事実から出る兄弟関係を認め、またこれを神聖視する、父なる神のすべての子らのために祈って居ります。私たちはあらゆる正しい方法でその兄弟関係を育成したいと思っています。私たちは、私たちの教会に加入してないかも知れない世界中の友人、それも善良な友人が多くあることを感謝しています。私たちは不当な偏見が消え去ることを感謝すると共に、私たちの目的と私たちの行動とが一層よく理解されることを感謝しています。また私たちは、すべての人々が私たちの目的の本質が利他的であることを認めるように望んでいます。私たちの願うところは、ただ私たちの同ほうが祝福を受けることだけであります。私たちは好い機会さえあればいつでも、人類に根本的の救いと高い栄えに昇ることを得させるため末日に啓示されたわれらの主イエス・キリストのものである回復された福音を私たちの同ほうに与えるものであります。私たちは真理を知る知識くらい幸福と永遠の喜びにとって大きな恵みはないことを知って居ります。

乙の確信を以て私たちは真理を人類に提供すると共に、またこの機会に私たちは友情と善意とを以て、世の贖い主なるキリストの「みたま」が万国の民の心にのこらず深くしみ込んで永久に平和と幸福と喜びとをもたらすよう心から熱心な願いと祈りとを、このメッセージがどこへ届こうと、主の家族の中にあるわが兄弟姉妹のすべてに述べる次第であります。

デビド・O・マッケイ
スティーヴン・L・リチャーズ
ルーベン・クラーク・ジユニヤ

（五頁より続く）

たちはさいわいである。またその時に彼らはさいわいである。

主は現代に於て救いの計画を啓示したもうたが、これは神の王国へ入るにふさわしい性格をもっている霊の領域へ向う道に全くほかならない。それは予言者ジョセフ・スミスへ回復されたイエス・キリストの福音であってしかも完全である。それは世の人々へ平和を提供するが、同時にそれは動物的の食欲と情欲とを征服し、隣人に奉仕をすることを要求している。神は、私たちが指導者として、神の羊の群から迷い出て行きつつある人々を導こうとするように助けを与えたもう。神は、わが救い主が「まず神の国と義とを求めよ。さらばすべてこれらのものは汝らに加えらるべし」（マタイ伝六章三十三節）と別のところで仰せになった言葉の中に含まれている成功の真の理想によって、これらの人々に霊感を与える力を私たちに与えたもう。

撓まむかシオンの子（下）

一九五八年六月十三日のMIA大会に於ける挨拶

マーク・E・ピーターソン

最近或る母はボーイスカウトの年令の彼女の息子の寝床を整頓していた時、その枕をひっくりかえしたらその下に今日流行の裸体画の罪に汚れた書物を発見して非常なショックを受けました。彼女はそのような書物のあることを知りませんでした。貴方は知っていますか！貴方は殆どの新聞雑誌売店及び雑貨店やドラグ・ストアの雑誌部などで見られる低級な汚れたものに驚きますか、そのような悪から免れる為何か手段をこうじていますか、現在流行の未成年結婚は貴方を驚かせないでしょうか、貴方は十四才十五才の未結婚の多勢の母親を如何に考えますか、貴方はアメリカ合衆国の高校や中学の生徒中の数多のにんしんを耳にした時如何に思われますか、すべての年令期の若い人たちの間に進行している無差別な愛撫は貴方を驚かせませんか、貴方は愛撫と言うものは如何なるものか御存じですか。

私は最近一団の監督者たちと語り愛撫の恐るべき事実を彼等に告げましたが彼等は容易に信じられないようでした。彼等はそのような事が進行しているのを信じられないようでありますが、その一団の彼等自身が愛撫の仮面をかぶった最悪の堕落の罪を犯した少年を私の処へインタビューの為送ってよこしています。

「娘さんたちがその両親に教会に行くと言って秘密なドライブを楽しんでいる時、貴方たちは対策を講じていますか」

我が国の少年少女がその或る者は十代にしてその恥も知らずに酒瓶を手にしていることに対し我々は重大な関心を持っているでしょう。

最近私は我々のカリフォルニヤの一ステーキ部の大会に出席する機会を持ちました。一人のボーイ・スカウトが語りました。彼は立上って、スカウトの記号をしてから言いました。

「私は自分の名誉にかけて、最善を尽くして道徳的正義（貞潔）を守ります」

これが彼の話の主題でありました。彼がその話を終えた時、愛らしい少女が立って、此の教会へ改宗した喜びと感謝の証詞を述べ且、彼女は言いました。

「私はキリストの福音を恥と致しません」

私は此の二つの声明の密切な関係を考えずには居られません。

福音は地上で最大なる力であります。そして若し我々がシャック博士が曾て言ったようにスカウトの内にわずかでもキリストの福音を取入れることが出来たらまた他のすべての若い男或は女の機関の内に、取入れることが出来たら、そして若い人々を彼等が決してそれを恥とすることのないようにキリストの福音に改宗することが出来たら、そして彼等の生活が決して恥ずることのないように証明されるなら、我々の喜びは如何ばかりでありましょうか。

この少女はその話の中で言いました。

「先づ最初に私は清潔な肉体を持ちましょう。そして二番目に私は清純な心を持ちましょう。三番目に謙遜な気持。四番目に誠実な心」

それから彼女は

「私は私の女性たることを尊重します」と言いました。

シオンの若人たちはこれ等の主張を守っているでしょうか、それともこれに動揺しているでしょうか、若しも動揺しているとしたら、誰が責任者でありましょうか、既に言及したようにすべてのせめが若人の上にあるのではありません。或場合に彼等は誤って導かれまた或時には全然導かれていません、多くのせめが彼等の指導者である我々の上にあるのです。

そう ですからこれは私たち一人々々に対し永遠の霊魂の為の最大なる戦への武装を呼びかけているのです。私たちはその呼びかけに応じましょう。

スカウトの指導者方よ、貴方たちは貴方たちの少年たちに直面している道徳上（貞潔）の脅威に対処する用意がありますか、貴方はスカウトの誓言の一つである ところの、

〃私は自分の名誉にかけて最善を尽くして、道徳的正義（貞潔）を守ります〃

と言う言葉を真実なものにして居りますか。

エムメンの指導者方よ、貴方たちは貴方たちの少年たちを他人でなく彼等自身の主人になるように教育して居られますか、彼等の感情の彼等の食欲の彼等の根本的な希望の主人公となるように、また貴方は彼等が義の原則を身につけ神に近づくことを学ぶように教えていますか。

ビーヘイヴ及びミヤメイドの指導者の皆さん。[illegible]以て貞操観念に徹し純潔を尊ぶように教えていますか、グリーナーの指導者の皆さん、貴方たちはこの教会の若い女性に、清潔な肉体、純潔な心、従順な精神を教えることが何を意味しているか御存じですか、貴方の少女たちは女性たることを尊ぶことが何を意味するか知って居りますか？

「私はキリストの福音を恥と致しません」

この 若い婦人が言いました。私たちはこの意味を知っているでしょうか、ただ真の改宗のみが私たちを恥じざる者とします。福音に恥じざる者となることは私たちが福音を教えることに恥じざる者となることをも意味しなければなりません。然しながら私たちは果してそうであるでしょうか、貴方の若い人たちは、福音を教えることを恥としていますか、若しそうだとすれば彼等は真理と義を守ることによろめいているのではないでしょうか、若し彼等が恥としていないなら彼等は勝利者であり忠実なる者でありましょう。

今日の世界にこのような道徳的脅威が生じ、ているからにはこの社交関係に不可分の道徳的問題に対し私たちはどんな態度で臨むべきでしょうか、私たち指導者自身道徳的教えを恥としているでしょうか、祭司たちがそうあるように民もそうだと言われて来ました。若し私たち指導者が恥とならないなら、私たちは若人たちも恥とならないように効果的に教えることが出来ます。寧ろ彼等はその高い標準を誇りとするでしょう。

それでは私たちがパウロと共に私たちはキリストの福音を恥とせずと宣言する時、道徳上の私たちの態度を如何に表現すべきでしょうか、そうするには私たちは

次の ように言わねばなりません。

〃私はキリストの福音を恥としません。私は如何なるその教えをも恥としません。私はその如何なる道徳的教えに従うことをも恥としません。

道徳に関し私は人々に私はモルモンでモルモンの標準に生活していますと告げることを恥としません。私は私自身をありふれた不潔な者にしないと人々に告げることを恥としません。

私は世の流行が如何にあろうとも模範的な衣服を着ることを恥としません。私は短いずぼん又はうすい水着、首のあらわな帯なしガウンを着ることを拒むのを恥としません。

私は私の礼儀と道徳を保つ為、身にまとうべきように私の体を覆うことを恥としません。私は平凡だと言われようとも清い人々を友達に選んで只清潔な人々のみと共に留ることを恥としません。

私は人々に私たちの道徳と貞節の立場を告げ彼等をして私たちの教会ではそのような罪は殺人の次に位すると言うことを知らしめることを恥としません。

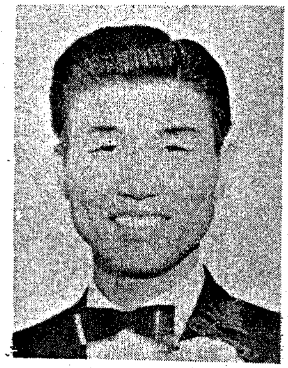
私はペッティングやネッキングパーティに参加しないことを恥とせず寧ろ私の女性

極東におけるモルモン

私の改宗と体験

渡辺　驩

第二次世界大戦の真最中に、私は小学校を卒業して中等学校に進んだ。丁度戦争中でもあったしまたその他、いろいろな理由で私は中



学校に進学せず工業学校の機械科に入り、「機械ヤ」にでもなろうと考えていた。しかしやがて終戦となり、私達学生ものびのびと本来の学業にいそしむことができるようになったが、恥しいことではあるが私は勉強よりもむしろ運動の方に興味があった。そこで先づ野球部に入ってキャッチャーをやらせて貰ったが、当時、体が小さくていくら頑張ってもセカンド送球がうまくできず、とうとう野球は体力的に自分には合わないと断念して今度はピンポンとテニスをするようになり、学業よりもスポーツに熱中しながら学校生活を送った。しかし卒業する二年程前から私の家のすぐ前にあったろ城球場に駐留軍の兵隊さん達がやってきて野球を楽しむ姿が見うけられるようになった。もともと野球好きな私であったから時々彼らの野球を見ていたがある時のこと、私の友達が彼らと話し合っているのを見て私も話をすることができたらよいなあと考え、以来、工業学校の機械科に籍を置いていた私が英語を勉強するようになった。丁度その頃、新学制が施かれ私も高等学校の三年となった。

たることを又は男性たることを擁護し尊重します。

私は全人類をして性は神性か又は堕落かどちらかへの門戸であると言うことを知らしめ私は神性を選ぶと言うことを告げることを恥としません。

私は提供されたシガレットに対し背を向けることを恥としません、私はアルコール飲料を飲むのを拒むことを恥としません。

私は清潔で完全な人とのみデイトすることを恥としません。私は私のデイトの習慣を神殿の結婚の方向に向けることを恥としません。何となれば私は神殿の結婚を恥とせず、またそれが私に要求する如何なるものをも恥としません。

私はこの教会の道徳的教えに従うことを恥としません。私は福音を恥としません、それは救いを得させる神の力であるからであります。〃

主の山に登るべき者はだれか。
その聖所に立つべき者はだれか。
手が清く、心のいさぎよい者
その魂がむなしい事に望をかけない者
このような人は主から祝福をうけ
その救の神から義をうける

詩篇　第二十四篇　三節ー五節

このことが私たちすべてにもたらされるようイエス・キリストの御名により心からお祈り致します。

（十二使徒会会員）

千九百四十九年の秋のこと、二人の外人宣教師が私達の学校へやって来て、いろいろと英語で話しをしてくれたり、歌を教えてくれたりした。何回かそのような回が続いた後、私も会に出席してみたが、たしか二度目に出席した時のことであった。幸にも会が終ってから私は宣教師と個人的に話しながら帰宅することができ、その道すがらいろいろと話し合い、別れる時に「モルモン教会への手引」というパンフレットを頂き、日曜学校に来るようにと招待された。それで次の日曜日迄にパンフレットをすっかり読み上げ、日曜学校に出席したが、以来私は教会のあらゆる集会に出るようになり、千九百五十年四月の二十二日に石川県の手取川で「罪の赦しをうくるためのバプテスマ」、「真の教会に入るためのバプテスマ」をアカウ長老よりうけ、続いて翌日岡部長老より聖霊の賜をうけるための按手礼をして頂いて末日聖徒イエス・キリスト教会の一会員となった。教会に来始めてから約半年後のことである。私はその間、頂いたパンフレットやモルモン経に記されていたこともまた宣教師の方々が説いて下さった教えも皆真理であると素直にうけ入れることができた。何故であったか。余り素直でなかった私が何故素直にうけ入れることができたのであろうか。当時はよく分らなかったがしかし最近になってその理由がはっきりと分るようになった。それは神が私の心を開き給うて宣師の説いて下さった教えもモルモン経に記されていた教えも皆真理であるということを聖霊の力によって私に教え、証して下さったからである。（モロナイ書十章五節参照）私はこの聖霊の導きに心から深く感謝している。何故ならばこの導きなくして私はこの真の教会に来ることができなかったからである。

私は今つらつら自分の半生の主な出来事を回顧してみて、その中にありありと神の「驚嘆すべき」導きの御手が働きつつあったということをはっきりと認めることができる。その一つは英語に余り関係のなかった工業学校の機械科に学んだ私が英語に対して有った興味を神が奇しくも用い給うたということである。

千九百五十四年の夏、十二使徒のヘロルド・B・リー長老が来日され、大阪の中之島公会堂で地方部大会が開催された。その時私は地方部長の要請でリー長老の通訳をつとめることになった。私は責任の重大さからまたよくできるかどうかという不安から非常に通訳をすることを心配していた。それで日曜日の大会の前夜に開かれたMIA大会の後、私は何か云われるとは思ったが意を決してリー長老に次のように尋ねて見た。

「リー長老、私は明日貴方の通訳をすることになっていますが、話のアウトラインを教えて下さいませんか。もしそうして下さるならばよくまとまった日本語で通訳することができますから」と。

するとリー長老は私に向って次のように優しく云われた。

「渡辺兄弟、もし貴方と私が同じ「みたま」をうけるならば、何ら難しいことはないでしょう」と。

私はこのリー長老の信仰に充ちあふれた言葉を聞いて「云われたなあ！」と感ずると同時に自分の信仰の弱さを恥かしく思った。その晩私は一生懸命「みたま」が与えられるように祈って眠りについた。しかし学校の教室でカヤもつらず寝たのでカに悩まされ、よく休むことができず翌日は眠くて体の調子は余りよくなかった。しかし私は「みたま」が与えられるよう、謙遜に祈りながらリー長老と共に一般大会の壇上に立った。リー長老が最初の言葉を話されたその途端、私は「みたま」を与えられ、本当に「みたま」に感じながらリー長老の御話を無事通訳することができた。私はその時程強く「みたま」の導きを感じたことはそれまでになかったしまた祈りの効果を如実に知ったこともなかった。私はリー長老の祈りと信仰の強さと当時の伝道地であった名古屋の人達及び地方部の方々の祈りを心から神に感謝した。私はその時の通訳は「みたま」の導きによってできたものであるということを今でもはっきりと覚えている。しかし後日、リー長老から手紙を頂いた時に私の霊の眼は更に大きく開かれた。手紙には「……貴方の日本語の知識と英語を日本語に翻訳する能力は殆んどの人が有ち合せていない「賜物」である……」と。

私の翻訳する能力は「賜物」であったのであ

る。私は神よりこの賜物を授かったのだ。では「私はこれを神の御業のために使わなければならない」と除々に強くその心の中に感ずるようになった。

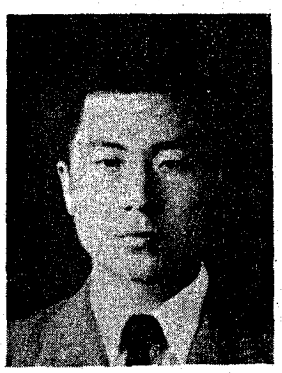
そうこうしている中に私は神の導きによりこの賜物を日々教会本部で活用する機会に恵まれるようになった。この二年間私は殆んどまとまった翻訳をしてはいないがしかし私にとって最も嬉しかったことはモルモン経の校訂読みを手伝わせて頂き、その後佐藤龍猪兄弟を御助けして「教義と聖約」及び「高価なる真珠」を最後的に校正した際にこの神よりの賜を使うことができたことである。

野球の選手になることを断念した私が野球好きであったが故に機械科の生徒に余り関係のなかった英語を勉強するようになり、やがてその英語がきっかけで宣教師を知り宣教師の媒で教会を知りそしてその教会で神の御業のために英語の知識を使って御役に立つことができるようになったとはいかにも奇しきことではなかろうか、私は自らの体験に基いてまことに神は実在し給い、私達がその導きをこばまないならば、私達を夫々最もよい方法で真の教会へと導き給うことを証する。

（筆者は東京南支部長）

私の改宗

大塚昌治



一九四九年の正月頃から高崎市に、二人の宣教師が住み始めた。一人はコージ・岡内長老であり、他はレイモンド・プライス長老であった。

正月中旬、両長老は市内の高等学校を廻り、全校生徒の前で、アメリカの風俗や習慣についてユーモラスな話をして行ったが、大変聴い事に、話しの終りに、商工会議所の講堂で開かれる集会についての宣伝を忘れなかった。

木曜日のMIAは従って六百人という多人数の出席を見たが、大半は市内男女高校生であった。私の友人も数人この集会に出席するようになっていた。

学年末、両宣教師と有志による貧民救済の街道募金が市内郵便局前で行われ、たまたまそこを通り合わせた私は友人より「モルモン教会への手引」というクリソールド伝道部長の書かれたパンフレットをわたされた。私はこのパンフレットを読み、非常に感動した。何頁か、丸暗記する程であった。終戦の翌年、旧制中学の一教師よりキリスト教についての教えを受けていたので、一層興味を引かれたのかも知れない。

火曜日に開かれていた聖書研究会が最初の出席した集まりであったが、その後、MIA、日曜学校等すべての集会にもかかさず出席した。当時十七才、おそまきながら真理にめざめた私は、宣教師の説くイエス・キリストの真の教えを一言半句ものがさじと、懸命に求道生活を送った。

五月に吉野洋太郎兄弟がバプテスマを受けたが、その日は私にとって、忘れ得ぬ日となった。すなわち、当日の開会の祈りが私であり、それが真の生ける天父に対する祈りの最初でもあったから。又同年の吉野兄弟がバプテスマを受けた後、急に立派になり私などとても及ば

表紙の説明

第一副管長 スティーヴン・L・リチャーズ

教会の大管長会の第一副管長スティーヴン・L・リチャーズは教会の指導者として教育者として、また法律家及び宗教法人の役員として豊富な奉仕の記録と業績を持っている。彼は一九一七年から使徒となり、一九五一年四月九日から大管長会の一員となった。彼は三十年間密切に宣教師事務を取扱っている。

一八七九年六月十八日にスティーヴンス・ロングストロウス・リチャーズ及びエマ・ルイス・ステイナー・リチャーズとの間にキャシュ郡メンドンで生れ、少年の時にその家族と共に、ユタ州ファミングトンに移った。

一九〇〇年にアイリン・メリルと結婚して後彼は暫くの間、アイダホに住んだが其処で彼は牧場を経営し又小学校の先生をした。

リチーズ長老夫妻は九人の子どもと二十八人の孫と十四人の曽孫を持っている。教会の激務にそうてリチャーズ副管長は注意深く一家団らんにその心を向け捧げている。家族員たちがお互の愛をあたため礼拝をする為に、山脈上の家に集った時は特別なもてなしが楽しまれる。

リチャーズ副管長は一九〇二年にミシガン大学で専門教育を始め一九〇四年にシカゴ大学で法学士の位を与えられた。彼の法律事務は同じ年にソルト・レーク市で始められ、ユタ大学法学部内の教授に附け加えて十三年間、続けられた。

教会の教育部門に於ては教育中央管理委員会実行委員であり、日曜学校中央管理委員会副会長として会長であったジョセフ・F・スミス管長及びデビット・O・マッケイ管長を補佐した。今日リチャーズ副管長の教会に奉仕する堅忍持久の精神はその勇気に於ても、誠実さに於ても少しもひるまないのである。彼の智慧の作用は教会の隅々にまで行きわたっている。多くの人は彼が回復された教会の有能な政治家の一人であることに同意している。

ぬ程の人格的な高さを感じ、始めてバプテスマについて考えさせられた。

七月には上京してマシウー・カウレー長老管理の全国大会に出席、その大会のスピリットに感じ、信仰を強める事が出来た。

七月下旬再び上京、長兄の家より駿台予備校の夏季講習会にかようようになった。日曜日は荻窪の日曜学校に出席して、あたたかいもてなしを受けた。モルモン経を最も熱心に勉強したのは、その時の二週間であり、最も熱烈に神に祈ったのもその頃であった。モルモン経をモロナイの勧めに従って読むうちに、モルモン経の真実なる事を知り、同時に悔改めとバプテスマの必要を身の内にはげしく感じた私は、岡内長老に会う為、急ぎ高崎に帰った。

八月十一日の事であり、MIAがその夜あった。MIAの席上「来る十八日は伝道部の閉鎖された日であり、クリソールド伝道部長の解任も発表された今日、その日を期して東京、横浜合同でバプテスマ会を開く」という事について岡内長老より発表があった時、私はまさしく神の導きであると知り、感激しながらその夜のうちに岡内長老にバプテスマの希望と信仰を表明した。

予備校を中途で帰郷した私は、両親から少々御小言を頂戴したが、バプテスマを受ける事には喜んでゆるして下さったばかりか、私の変り様はみな宣教師の導きであるとして、岡内長老に最大の言葉で感謝をしていた。

実際、私は教会に来る以前には不良グループに居り、悪い事に父親と大けんかをして、ねじふせた程腕力があり、両親の手をひどくやかせて居たからであった。

一九四九年八月十八日、伝道本部に於て行われた合同のバプテスマは教会の会員として十二名の兄弟姉妹を迎えたが、私もその時「新たに生まれたる者」の一人であった。岡内長老より按手礼を受けた瞬間より私の舌はほぐれ、「イエスはキリストなり」の証詞を人々の前で勇敢にたてられるようになった。（東京北支部長）

信仰と証詞

鈴木なみ姉妹の証詞

渡部正雄

本伝道部最初の姉妹として五十五年余りの固い信仰生活を続けて居られる鈴木なみ姉妹の事に就ては昨年の聖徒の道十月号に、既に高木兄弟によって近況（高血圧で数年来病床にあり）を報ぜられましたが十二月に同姉妹が特に強い証詞を述べられましたのでお伝え致し度いと思います。

十二月七日特に同姉妹より頼まれ鈴木支部長と共に灌油の儀式をほどこす為訪問しました。その時姉妹は次のように言われました。

「先日急に病勢が悪化し頭痛と耳鳴りで一刻もじっとして居られない程でありました（その頃丁度訪問の予定でありました伝道部長も重態の趣で中止となり私共も今度は姉妹も神様の御許に召されるのかと思ったほどでした）医者の診断により老衰による動脈硬化に基くものでこの頭痛と耳鳴りは少くとも一ケ月は続くとの事でした。

私は前に一度灌油の儀式をしていただいたのでありましたが、その時は心から願わず従って感謝もせず、どうせ自分の生命はそう長くないであろうと言うような大変間違った考えで受けた事を深く恥じ反省して神様にお詫びしました。そして今度は心から感謝の気持を以てお願いしたいと言う念にかられてお祈りしました。すると不思議に一日でその堪えられない程であった頭痛と耳鳴りがピタット止ったのです。私は只々慈悲深い神に感謝の涙を流し早速この聖なる儀式をお願いしたのです。

そして今度は心から前に受けた時の気持を悔い改め、深い感謝の念を以て心から求めて、神権者の貴方たちにお願いした次第です」

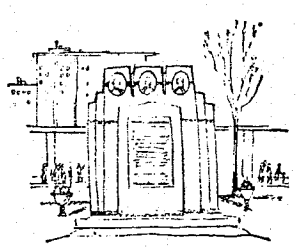
私たちは喜びと感激を以てこの聖なる儀式を執行して帰りましたが、その二週間後、二十一日の安息日にやはり頼まれまして聖餐式を行う為訪問しましたがその時はもうベットの上に起き直られてすっかりお元気でいろいろお話を致されました。その時も鈴木姉妹は私は只こうして床に就いたきりで教会の為にも何も出来ず誠に申訳なく思って居りますと言われましたので私たちはそれは違います

なみ姉妹の五十有余年の固い信仰生活と強い証詞は時々聖徒の道に発表され日本中の兄弟姉妹はその記事を読んで、どんなにか証詞を強められ、励まされていることでしょう。姉妹はここにじっと寝て居られても各支部の説教壇で話をして居る多くの会員よりも余程大きな働らきをして居られるのですと感謝の言葉を述べてお慰めして帰った次第でした。

この度の姉妹の尊い体験が今後兄弟姉妹の灌油の儀式を受けられる時の心構えとしてお役に立ち皆様の信仰を深めることが出来たら姉妹もどんなにか喜ばれることでしょう。また余裕がありましたら皆様も姉妹に感謝とお慰めお励ましのお手紙を差上げられましたら幸甚の至りです。宛先を左記します。

鈴木なみ姉妹住所

横浜市中区曙町二丁目二十七番地



信仰の木

西嶋吉春

私は一人の友達を持っている。……といってもそれはもう四十才にもなるという　私とは親子程も年令の違う男の人である。普通なら交際しないであろうこのような人と何故交際したか？それはその人が温厚な人であり、身寄の私等を待遇するにも少しも軽んずることもなく大きな慈愛のこもった態度で接してくださるし、眼に見えず言葉で表現出来ない人間性を感じさせてくれたからです。その人間性が二十年近い年令の隔りを取り除いて親しい交際を成立させていたのです。私は彼のその人間性が何によってつちかわれたものか大きな興味をもって探ってみました。その答えは〃彼がキリスト教信徒だから……〃でした。この時から私は「キリスト教」に大きな関心を持ち始めた。キリスト教の如何なる教義が彼にこのような人間性を与えたのか？誰にも尊敬される人格を醸成させたか？……と。しかし私の実家が田舎である為何分にも交通便が悪く、遂に教会には行かず終いになっていました。

その内私は町長の命を受けて札幌の自治講習所に入所しました。このように講習生としての生活を送っていた或日、友達と道庁前広場を散策していて一人のアメリカ人から小さなパンフレットを貰った。その主なる内容は忘れてしまったが、只会費不要で、ダンスを教えるという字が私の眼を捕えた。前からダンスには並々ならぬ興味を持っていたし、前にも記した通り、キリスト教にも少なからぬ興味を持っていたので、この二つの気持がその晩に私の足を教会へ運ばせた。このような動機がその後も続いて私を教会の種々の会に出席させた。ある日は家庭集会に又ある日は日曜学校、聖餐式、神権会、ファイヤサイドに、又別の日にはMIAにとこの事が私の心の奥深くに潜む「真の信仰を願う心」という種子を成長させ始めた。他の宗教では何の変化も示さなかった種子を……。例えていえば、教会という「土」と兄弟姉妹の愛という「太陽熱」を得て私の種子は成長し始めたのだ。そして遂にバプテスマという儀式を契機にポッと芽を萌しグングンと成長して来ている。それは恰も自然の草木のように石という圧迫、迫害の下を潜り抜けて天を目指すのである。だがこの信仰の木は自然の草木と異なる点がある。それはおとぎ話の「ジャックと豆の木」のように天、つまり神の御座、日の栄えを目指しそこに到達しなければ満足しない木なのである、たがそのジャックの豆の木と異る点がある、それは豆の木のように一晩にして育つという簡単なものでなく、長く苦しい時日を要するものであり、又一本だけでは延びることの出来ない弱い木でもあるのである。恰も「あさがを」のつるの如く支柱となるものが無ければ地を這い回るだけであり支柱があって始めて天を目指して延び得るのである。ではこの支柱となってくれるものはなんであろうか？私をしていわしめるなら信仰の木の支柱、それは教会と兄弟姉妹の愛に他ならない、と断言する。

このことから私は私の信仰の木を正しく直ぐに育てる為にはより多くの機会を見出し、より多くの回数に亘り教会に集い、親愛なる兄弟姉妹の愛情を受けようと決意するとともに皆さんにも奨める次第である。重ねていう、「正しき信仰の道を歩むためより多くの機会に教会へ集えよ」と。

最後に私の証をいたします。私の心の信仰の心、真の信仰を求める心をひきつけたものそれはこの教会が神の真の教会であったればこそであり無信仰の私に信仰を持たせ、現在見るように正しい道を歩ませ、今後においてもモルモンの道を歩ませるのである、故に私は心から信じて証する。この教会はジョセフ・スミスによって回復された真の教会であり今尚神の御心に適った教会であると。

これらの短かいお話しと小さな証のすべてをキイエス・キリストの御名を通して申上げました。

アーメン

図書案内

教義と聖約・高価なる真珠・モルモン経合本	1100円
教義と聖約・高価なる真珠	300円
モルモン経（新訳）	200円
新旧約聖書（口語体・文語体）	300円
完成への道	200円
初等協会教科書	150円
総合聖句の手引	150円
日本系図探求要綱	100円
聖典中の指導者	150円
家督権の祝福	100円
扶助協会手引	50円

日曜学校用

福音と生活	100円
古代アメリカの生活	100円
旧約聖書物語	150円
教義と聖約の教え	150円

MIA用

役員指導者の手引	100円
我等の指導者の言葉・福音と生活	100円
モルモンとは？	100円
演劇指導者基礎知識と脚本集	75円
演説が上手になる法	150円
社交ダンス必携	160円
新しいフォークダンス	50円

讃美歌及び歌集

末日聖徒讃美歌	300円
末日聖徒讃美歌抜萃	30円
子等は歌う	100円
レクリエーション歌集	400円

……註文は各支部長へ……

（七頁より続く）

寄りとを改宗させようとすることを一度も止めたことがありません。これまで私が真の教会へ入れた親愛な兄弟姉妹たちが熱心に働いて、教会の中で相変らず活潑でいるのを見ることは私の最も大きな喜びであります。また私が昼食の休み時間中に開いた家庭集会の結果として十五人以上の兄弟を教えることができるのも私の最も大きな喜びであります。」

この立派な韓国の兄弟が私に手紙を書いた目的は、福音に就いてもっと多くの人々に語ることができるよう宣教師に召して下さいと私にたのむことでありました。この兄弟は教会に就いて正しい態度を持っています。この兄弟は、わが教会が彼の生涯の中で最も偉大なものであることを認め、それを他の人々に分け与えたいと思っています。考えてごらんなさい。この兄弟は昼食の休みに福音を説明して十五人の人々を教会に入れています。あなたは今年中に一人の人を教会に入れることができますか。もしあなたが心からやって見るなら、あなたはそれができることを私は知っています。従って私はこの伝道部に属する会員が一人のこらず今年中に少くとも一人の人を教会に導くように努めるようここにお願いを致します。

若き末日聖徒の為の

モルモン経物語

エマ・マーピーターソン著＊渡部正雄訳

才四十九章

悪い法律業者は悔改める

（アルマ書第八章～第十五章）

主なる神さまはアルマに語りアモナイハ市で働らきを始めるように命じました。主なる神さまは又アミユレクをお召しになりアルマを援けるように云われました。二人の者は福音を説く為不信仰の人々の間に入って行きました。主なる神さまは彼等に大いなる力を与えられ、悪人共が彼等を殺そうとした時、彼等を守りました。アミユレクは大変よくアルマの働らきを援けました。彼は人々にアルマは真の予言者であることを知っていると告げました。何故なら主なる神さまのみ使いが彼の許に来てアルマに就て語り彼に予言者を迎え彼の家に伴って食物を与えるよう命じたからだと申しました。

町の或法律業者が二人の宣教師に質問し困らせてやろうとして議論をしかけて来ました。けれどもアルマとアミユレクは彼等に対抗して民の前に彼等を困らせてしまいました。そこで法律業者等は大変怒り何とかして宣教師等の律法を犯したところを指摘して牢屋に入れてしまおうと致しました。

これ等法律業者仲間で最も先輩である一人にゼーズロムと云う者が居り彼は他の者をせんどうしてアルマとアミユレクに議論を吹かけて居りました。彼は宣教師をだまして彼等が云わんとしているところをゆがめてまちがった意味にしてしまおうとしました。けれどもアミユレクはみたまに充たされてゼーズロムに対し如何に彼が間違っているかを示し狼狽させました。

アルマとアミユレクは大変力強く語り、よく法律業者等を狼狽させましたので聞いていた多くの人々が彼等の教えを信ずるようになりました。けれども民の大部分の者が二人の宣教師に対し益々はげしく怒り始めました。遂に怒り狂った彼等はアルマとアミユレクを捕え繩で縛って彼等の大判事の前に連れて行きました。そこで彼等は宣教師たちを牢屋に入れるか殺してしまおうとして偽りの告訴を致しました。

アミユレクに困らせられた法律業者ゼーズロムは偽りの告発を聞き彼の隣人等が如何に間違って居るかを見又アルマとアミユレクが云った事が如何に正しかったかに気づいて悔い改め始めました。彼は自分が民をして偽りを信じさせ判事に偽りの告訴をさせた事を知り自分の犯した罪に就て大変悩みました。彼の良心はひどく彼を傷つけました。

彼は集っている人々に対し語り「罪を犯したのは私で此の人たちは神の前に何の罪もありません」と云いました。ゼーズロムは、アルマとアミユレクが許されるように歓願し彼等をべんごしました。人々は彼の願いを聞き入れる代りに彼につばを吐きかけました。彼等は彼に悪魔にとらえられたのかと聞き彼を追出し石をぶつけさせて殺してしまおうと人々を追跡させました。

怒り狂った悪人共はアルマとアミユレクの教えを信じた者たちをくまなく探し、探し出した者を残らず連れて来ました。この人々は男も女も小さな小供も皆アルマとアミユレクの前に縛り上げられました。そして彼等の書物は聖書も含めて残らず燃されてしまいました。そして炎が熱して来た時これ等の信者はその中に投入れられてしまいました。

アルマとアミユレクは自分等に

従った者が焼殺される苦しみを見せつけられました。アミュレクはそれを見た時心を傷めてアルマに向い「私たちはとてもこの残酷な有様を見ては居られない。さあ手をさしのべて私たちに宿る神の力でこれ等の者を火の中から救い出そうではないか」と云いました。

けれどもアルマは答えて「『みたま』が私に手を出してはならぬと制したもう。ごらん、主はこの殉教者たちを自分の居る所へ迎え入れて栄光を授けたもう。また、人民がその心のかたくなままにこのように信者を殺すことを許しておきたもう。それは、主が怒ってこの民に下したもう裁きが正義にかなうためであって、また罪のない者たちの血がこの民に反対する証となり、終りの日にはげしく民を訴えんがためである」と云いました。

アミュレクは自分自身も恐れて「あの人たちはおそらく私たちも火で焼くようになるかも知れぬ」と云いました。

けれどもアルマは主なる神さまの御意志を知って居りました。彼はアミュレクを慰めて「しかし、私たちのしなくてはならぬことがまだ成就していないから、あの人たちは私たちを火で焼くことはない」と云いました。

罪なき人々と聖文が焼け尽くされて火が消えた時高等判事がアルマとアミュレクが縛られた儘立っている処に来て顔を打って「このような有様を見ながらまだお前等は此の民に教えを宣べ伝えてかれらを燃える硫黄の湖に入れようとするのか？見よ明らかにお前らは火の中へ投げこまれた者たちを救う能力を持って居なかったではないか。又彼等がお前等と同じ信仰と教えとを持っているからと云って神はかれらを救わなかったではないか」と云いました。

彼は彼等のほほを再び打って「お前ら自身何と弁解をするか」とたずねました。

この判事はギデオンを殺した背教者ニーホルによって創られた教会に属して居りました。

アルマもアミュレクも共に答えませんでしたので彼は更に怒って彼等を打って下役に引渡して牢屋に入れさせました。

三日後にニーホル教会の会員である法律業者や判事等が更に多く牢屋に来て宣教師たちに質問しましたが宣教師たちは沈黙を守り続けました。

高等判事は彼等の前に立って「お前等は何故此の人々のたずねることに答をしないのか、自分はお前らを火の中へ投げこませる権力があるのを知らないのか」と云いましたが彼等は依然として何の返事も致しませんでした。

翌日また法律業者や判事等は戻って来てもう一度宣教師たちに質問しましたが宣教師たちが返答することを拒むと悪人共は宣教師たちにつばを吐きかけました。また数日を経て彼等は再び牢屋に来て宣教師たちを嘲罵しました。この間アルマとアミュレクは何の食物も飲物も与えられませんでした。敵共は彼等の衣服も、はぎとって縛ったまま牢屋にぶちこんで置きました。

高等判事は、町の多くの法律業者や教師等を連れて再びやって来ました。彼等を幾度も打ってから「お前らに神の能力があるならばこのいましめてある繩から自分の身を救え。そうしたらわれわれはお前らの言うように主がこの民を亡すことを信ずる」と云いました。

そこで判事と共に居たすべての者がやって来て彼の言った事を繰返しながら二人の囚人を打ちました。最後の者が彼等を打ち罵った時アルマとアミュレクは立上って「主よ、いつまでもこんなひどい苦痛を忍ばねばならないのか。主よ、私たちがキリストを信ずる信仰に応じて自ら救うほどの力を与えたまえ」と叫びました。

天から大きな力が与えられて彼等は彼等を縛っている繩を断ち切りました。これを見た判事とその仲間はびっくりして命が惜しくなり逃げて行きました。彼等は滅亡がおそいかかって来ることを恐れました。

彼等がまだ戸口に着かない前に地震が起って牢屋をゆすぶり判事や悪者共を皆殺してしまいました。アルマとアミュレクは何の傷も受けませんでした。

牢獄は全市に聞えるような大きな音を立てて崩壊しました。多くの者が何事が起ったのかと走って見に来ました。彼等はアルマとアミュレクが壊れた牢屋の中から歩いて行くのを見て恐れおののいて逃げて行きました。

主なる神さまは今や二人の僕にこの町を去りサイドムの地に行く

ように命じました。そこで彼等は悪い町アモナイハで改宗した或人々に逢いました。彼等は町から追い出され石をぶつけられたのでしたが逃げのびた人々でありました。

その中に曾て悔い改めたゼーズロムが居りました。彼は熱病にかかって居りました。彼はアルマとアミユレクが町に来たことを聞いて人を遣わし呼びにやりました。そこで彼等は彼を訪れました。彼は彼等に神の力によって医して下さいと頼みました。

アルマは彼の手をとって「救いをあたえるキリストの能力を信ずるか?」と云いました。

ゼーズロムは「はい私は汝の言った通りに信ずる」と答えました。

そこでアルマは主なる神さまに祈りゼーズロムを医しました。悔い改めた法律業者は直ちに床より立上り完全によくなりました。アルマは彼を伴って出て行き彼にバプテスマを授け教会の会員に加えました。ゼーズロムはその後宣教師となり彼に聞くすべての人々に福音を説きました。

第五十章　悪い町は滅ぼされた
（アルマ書第十六章）

アモナイハ市の民は滅ぼされなかった事を自慢しました。彼等はアルマとアミユレクが警告した時笑いました。彼等は主なる神さまを信ぜず主なる神さまの僕たちを迫害しました。

アルマとアミユレクが立去るとレーマン人はすぐニーファイ人に対し戦争を始めました。彼等はニーファイ人が準備して立上がる迄に既に幾つかの町を占領する程迅速に行動しました。

レーマン人等は侵略の途中アモナイハ市に兵を進めました。其の町の民はその大軍を阻止するだけの力を持って居りませんでした。レーマン人等は町の中に侵入して或日その住民をすべて殺し彼等の家やその他の建築物を破壊してしまいました。

レーマン人等は殺した人々を埋めもせずに立去ってしまいました。只野犬や野獣が生き残って町をうろつきました。死体の臭気があまりにひどいのでニーファイ人が来て全部集めて土をかけました。

その時からアモナイハの地は「ニーホル宗徒の絶滅地」として知られるようになりました。殺された人は皆背教した教会ニーホル宗の信者でありました。

ニーファイの軍勢は今や敵に対し反抗し始めました。けれどもレーマン人たちは既に幾つかの都市を占領し多くの捕虜を捕えていました。或ニーファイの一軍が捕虜を発見して救出す為に出動しました。彼等は捕虜を警備しているレーマン軍を攻撃しました。レーマン人たちは捕虜を置去った儘逃走してしまいました。そこでニーファイの軍は捕虜を救い出しゼラヘムラ市に帰らせました。

アルマとアミユレクは続けて各地で説教し多くの人々が彼等の罪を悔い改め主なる神さまに向いました。

ゼーズロムは常に此の二人の宣教師を援けました。多くの者が彼の改宗に驚き、その病気の医された事に尚一層驚きました。彼は教会内で忠実な働らき手となりました。各地に再び教会が建設され背教精神は克服されました。そこには民の間に悪も見られず主なる神さまはそのみたまをすべての人々の上に注ぎました。そしてすべての人々の心は柔かになりました。

働きを援けるために祭司や教師たちが召され彼等は民にうそや偽りや盗みその他多くの悩みのたねとなっている事を避けるように教えました。

第五十一章　反キリストのコラホル

ゼラヘムラの地にコラホルと云う人が住んで居りました。彼は非常な雄弁家でしたが神に対する信仰は非常に薄かったのでした。

或日、光の使いのように悪魔が彼に現われました。悪魔は実在していて我々の肉体のような骨肉を持って居りませんが我々が此の地上に生れて来る前に持っていたと同様の霊体を持って居ります。

それはエデンの園でアダムとイヴを誘惑したのと同じ悪魔でした。それは又モーセにも現われて「我は救主なり」と云って欺こうとしたのと同じ悪魔でした。モーセはこの悪魔を叱って追出してしまいました。

けれども悪魔がニーファイ人のコラホルの許に来た時コラホルは悪魔の云うことを聞きました。悪魔は多くの他のニーファイ人と同様にコラホルをもだまそうとしました。

悪魔はコラホルにニーファイ人の間に行って神はない事、人々は罪を犯し好き勝手な事をしてよいこと、又死はすべての終りである事を説けと告げました。

コラホルは人々の間に行って悪魔に言われた通りに教え始めました。彼は「愚で空しい望みの奴隷になっている人たちよ。あなたたちはどうして、このような愚なことのためにくびきを自分の身にかけているのか。誰も前以て将来のことが知れないのに、あなたたちはどうしてキリストを待ち望んでいるのか。あなたたちが聖い予言者から伝えられた予言であると言っていることは、あなたたちの先祖が伝えた愚な伝説にすぎない。あなたたちは、どのようにしてその説が確であることを知っているか。あなたたちはまだ見ない物事については何にも知ることができない。それであるから、これからキリストがこの世に来ると言うことを前以て知ることはできないのである」と云いました。

彼は其の他多くの真実でない事を彼等に告げました。或愚かなニーファイ人たちはコラホルの云うことを信じて罪に陥りました。

彼はアンモンの民の住んでいるジエルシヨンの町に行きました。彼等はニーファイ人よりも賢くコラホルが悪いことを教えようとすると彼等はコラホルを捕え縛ってその国の大祭司であるアンモンの前に連れて行きました。アンモンはその従者にコラホルを町の外に追出すように告げました。

コラホルはそこでギデオンの地に行き説教を始めましたがそこの民もまた彼が悪い事を知って聞こうとしませんでした。彼等はまた彼を縛って彼等の高等判事であり、大祭司である人の前に連れて行きました。

大祭司はコラホルに向って『汝はどう言うわけで歩きまわって主の道を曲げるのか。どう言うわけで将来キリストは来りたまわないとこの民に教えてその喜びを妨げるのか。どう言うわけで聖い予言者たちの予言にことごとく反対して言うのか』とたずねました。

コラホルは予言は愚かな伝説でありと言い人々に彼等はそれが真実であることを証明出来ないであろうと告げました。彼は大祭司が人々をあやまらせ束縛の境涯に陥れたと非難しました。

高等判事である大祭司はこれを見た時コラホルが如何に悪人であるかを知って彼と争うことを止めました。彼等は彼を縛った儘ゼラヘムラに連れ戻してそこの高等判事及び大祭司アルマの前に連れて行きました。

コラホルは彼等の前に立つと神を冒瀆し始めました。彼は教会の祭司や教師等に反抗し彼等が民に課税しその金でぜいたくをしていると非難しました。

アルマは彼を制止して「われわれがこの民の骨折りで自分たちの腹を肥していないのは汝が知っていることである。私は、私の民に神の道を宣べるためにたびたび全国をまわってあるいたが、判事治世の始めから今になるまで自分の身を支えるためには自ら労働をした」と云いました。

アルマは悪いコラホルに教会の役員は一人として金の為に説教している者は居ない。彼等の唯一の報いは主なる神さまの仕事をする喜びであると告げました。

アルマは続けて「汝はわれわれが何の利益も受けていないのを知りながら、利益を得るためにこの人民に道を伝えていると訴えるのはどう言うわけであるか」とたずねられた。

アルマはコラホルに兄弟等が民を欺いていると思うかとたずねるとコラホルは思ったと答えました。

そこでアルマは「それでは汝は神がましますことを信ずるか」と云いますと彼は「否」と答えました。

更にアルマは「汝は神がましますことをまた否定するのかまたキリストを否定するのか。見よ汝に言うが、私は神のましますことと、キリストが将来この世に来りたもうことを知っている」と云いました。

コラホルが曽て福音が真実であることを証明する証拠がないと云った事を憶えていたアルマは「汝は何の証拠があって神がましまさず、またキリストは降臨したまわないと言うのか。そう言う汝の言葉のほかには何にも証拠がないではないか。しかし見よ、私は万物を以て神のましますこととキリストが降臨したもうことが本当であるのを証

明するばかりでなく、汝にもまた本当である証拠として万物があるのである。それであるのに汝はまだこれらの事実を否定するのか。またこれらの本当であることを信ずるのか」とたずねました。

アルマはコラホルが神を信じていながらも悪魔の云うことを聞いているのを知って「私は汝がそれを信じていうことを知っている。ところが汝は偽を言う霊につかれていて自分に神の『みたま』が宿らないようにこれを遠ざけた。今悪魔が汝を支配してここかしこへ汝を行かせ汝を使って悪事を行わせそして神の子等を亡ぼそうとしている」と云いました。

コラホルはアルマに向って「神があることを私に確に信じさせる為に一つのしるしを示せ。神に能力がある事を私に示せ。そうすれば汝の言葉が本当であることを確に信じよう」と云いました。

救主は皆てしるしを求める者は悪人であると言われました。この事を知っていたアルマは「汝はもはや充分のしるしを持っている汝は自分の神を試みようとするか。汝の同胞であるこれらの人々の証拠とすべての聖い予言者の証拠とがあるのに、また私にしるしを見せてくれと言うのか」と云いました。

そこでアルマは彼に聖文が如何に神の存在を証明し主なる神さまは地球と万物を造り給うたかを示しました。アルマは「これでもまだ汝は歩きまわってこの民の心をまどわし、神がないと言うのか。汝はこのように多くの証拠に反対しても信じないのか」と言いました。

コラホルは「もしもしるしを私に見せないならば決して信じない」と答えました。

アルマはコラホルの為に心の内に悲しみました。けれども彼はコラホルに続けて説教することを許したらコラホルばかりでなく彼を信ずるすべての者が罪に陥り失われるであろうことを知って居りました。

アルマは辛抱強くコラホルの悔い改めるのを望みました。けれどもコラホルは尚もしるしを求めました。

アルマは「若しお前がまだ拒むなら神はお前が二度と口を開く事が出来ないようそしてこの民を二度と欺く事が出来ないようにする為お前をこらしめておしにするであろう」と言いました。

コラホルは頑固で尚もアルマに反抗して神を拒みました。遂にアルマは「それなら汝は私の言ったようにおしになれ。これは私が見せてやるしるしである。私は神の御名によって云う、汝はおしとなって二度と口を利くことができない」と云いました。

直ちに主なる神さまはコラホルを撃っておしにしてしまいました。彼は一言もしゃべれなくなってしまいました。

大判事はこれを見て手を差出しコラホルに書示して「汝は今や神の能力を確に信ずるか。汝は誰によってしるしを見せてくれとアルマに願ったか、見よ、アルマはすでに汝にしるしを示した。汝は今まだ疑っているか」とたずねました。コラホルもまた書示してこれに答えました「私はもはや物を言うことができないのでおしになったことを知り、また神の能力の外に此の禍を私に下すことの出来るものは無いことを認める、まことに私も前から神がましますことを知っていたのである」と。

彼はそこでアルマと大判事に悪魔が光の天使のように彼に現われて偽りの教えを説くように命じたのだと告げました。そこで彼はアルマに彼が再び語れるように呪いを取除くように頼みました。けれどもアルマは「もしもこののろいが汝からとり去られると汝はまたこの国民の心をまどわすであろうから、これは主のみこころにお任せする」と云いました。

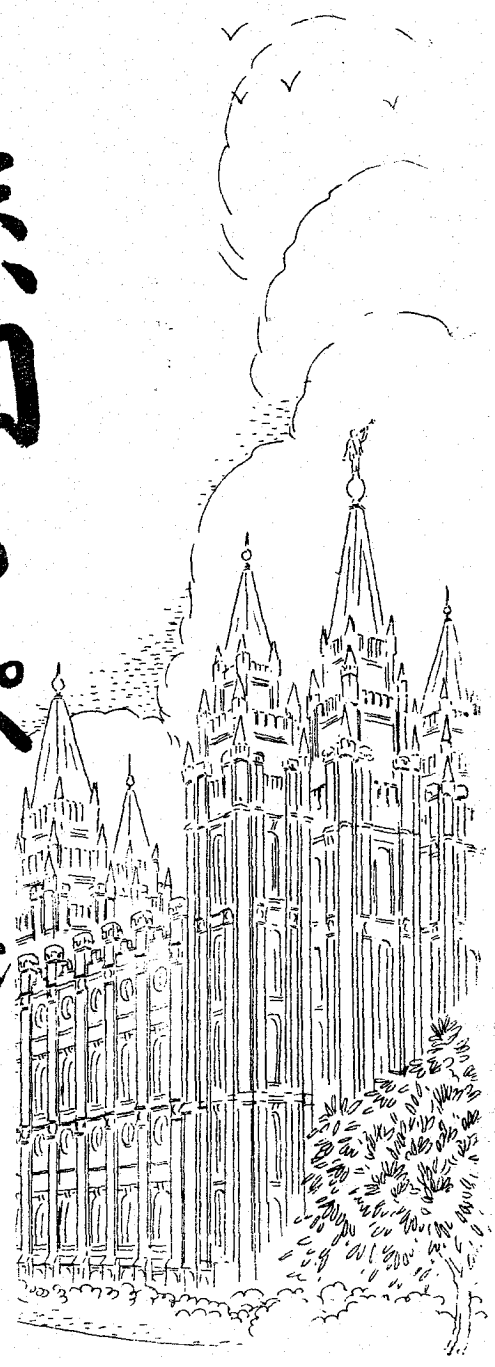
主なる神さまは彼の上から呪いを取除きませんでした。コラホルは今や一言も語る事が出来ず町から追出され食物をこうて家から家へと歩き廻りました。或日彼は町を歩いて居る時に踏倒されて死んでしまいました。

アルマは民に布告を出してコラホルの身に起った事を告げました。この悪説教者の教えを信じていた者たちは今や彼に従った事が間違いであった事を知りました。

彼等は悔い改めて真の神の教会に戻りました。

ロズローム氏さる

系図のページ



何故系図研究をするか

松本支部系図委員会長遠藤文方兄弟より主題の件に就きチラシをつくり度いからとて依頼があったので参考迄に私案を立てて見ました。

系図研究は人類史学或は民族学、考古学等の分野に於ける一学問大系として広く世界の学究的人士によって研究されて居り、日本に於ても日本古代史、又は氏族制度研究専門家等により曽て立命館大学を中心に系譜学会等を設立して之に関する書籍等もいろいろ出版されて来たが何れもその主な目的は史学或は民族社会学の一学問体系を創立せんとするのみであった。然るに一八三〇年、此の地上に末日聖徒イエス・キリスト教会が回復されてから、この系図探求が神の最大なる誡命の一つとしてその目的がはっきりとするに至ったのである。

伝道本部に於て発行せる〃日本系図探求要覧の冒頭にも

「系図と神殿の仕事は我々の天父によって我々に与えられた任務である」

と明記されてある。此の地上にイエス・キリストの真の福音があった時は何時でもこの記録保存の原則は理解され実施されて来たのである。何となれば主は予言者ジョセフ・スミスを通じて次のように言って居られる。

〃汝ら、この記録に関する順序次第を極めて厳重なりと思うやも知れず、されど聞くべし、これ万一福音を知らずして死にたる者たちの救いの為に世の始めより前に主の備え且つ定めたまいし儀式と備えに適いてひたすら神の旨に応え奉らんためなり〃

（教義と聖約一二八章五節）

〃而して汝らの死者に関し真に作り出されたるこの世の記録の如く天に於ける記録もまた同じなり。この故にこはすなわち結び且つ固むる権能にして言を換うれば、王国の鍵にしてまた知識の鍵たるなり。さてわが親愛なる兄弟姉妹よ。われ断言すこは死者と生者とに関する原理原則にして、われらの救いに関して決して軽々に見過すべからざるものなり。それは死にたる者の救いは必要にして、死にたる者の救わるることはわれらの救いにとりて必須なることなり〃

（教義と聖約一二八章十四節、十五節）

マラキはその書の末章五節及び六節に「さて見よ。主の大いなる恐ろしき日の来る前にわれは予言者エライジヤを汝らの所に遣わす。

エライジャは先祖の心にその子らのことを思わせ、子らの心にその先祖のことを思わせん。こは、われが来りてのろいをもて全世界を撃たざらんためなり」と言ったが一八二三年九月二十一日夜ジョセフ。スミスに現われた天使モロナイはこのマラキの言葉を再び固め一八三六年四月三日カートランド神殿に於てこれが成就したのである。主の来たり給う時のろいをもて全世界が撃たるることなきよう我々は今日系図を探求しているのである。

更に我々は教義と聖約第百二十八章の後部に次の如き神の誡命を見る

〃兄弟よ、われらまことに偉なる大義に向って進まざらんや。進み行きて退くことなかれ奮い起てよ、兄弟たち。進み進みて勝利に至れ。……死者よ、王インマニュエルに永遠讃美の歌を語り出だせ、インマニュエルこそ創世の前より、われらをして死者をその囚屋より贖うを得しむることを定めたまえり。そは囚人は釈さるべければなり。……見よ主の大いなる日は近づけり。主の来りたもう日に当り得るは誰ぞ。……この故にいざわれら一教会員として一人の民として、また末日の聖徒として義しきに適う捧物を主に捧げん。またいざわれら、主の神殿の完成せる時、その中に於て、主が完全に受け入れたもう価値あるわれらの死者の記録を載せる一冊の書を主に呈せん〃

（教義と聖約一二八章二二節～二四節）

私たちは日本民族の先祖崇拝系図尊重の好条件を活用して此の最大なる神の誡命を遂行し此の聖業を通して多くの生ける同胞を救いの道に伴うと共に多くの死せる同胞、先祖を主の贖いに浴せしむべく精進すべきではないでしょうか。

武内姉妹系図テキストを ハワイ土産に持ち帰る

渡部正雄

昨年の十二月二十一日は横浜支部は改築の落成祝のオープンハウスの翌日で且つクリスマス特別プログラムの安息日であり、アンドラス伝道部長をも迎えて誠に素晴しい安息日であったが、偶然にも突然ハワイから武内長老のお母さんが訪問され（これ迄に山口県の郷里で系図を探求して来られた由）分級後系図のクラスに出席され、いろいろハワイに於ける日本人会員の系図探求、神殿の仕事等に就いて興味あるお話をして下さったが、武内姉妹はクラスで使用しているテキスト「家督権の祝福」と「日本系図探求要覧」を眼にとめて非常に喜ばれ、私たち英語のよくわからないハワイの一世の会員は別に日本人のクラスを設けているが此のような日本語のテキストがなく、このテキストを見たら皆がどんなに喜ぶでしょうと言われ、是非一部いただき度いと申出られたので、伝道本部に行けば新しいのが買える旨を告げたが『二、三日中に飛行機で発つのでそのひまがないので恐縮ですが是非貴方の分をゆづっていただき度い』と申され私は心から嬉しく感謝しておゆづりした次第です。大事そうにこれ等のテキストを鞄に入れて支部を出られる武内姉妹を門口迄見送られた部長さんは私に『きっとハワイからあのテキストの注文がたくさん来るでしょう』と嬉しそうに言って私を喜ばして下さった。

今はアメリカに帰られたワルゼン姉妹が伝道中苦心して私たち日本人の為、また私たちの先祖のために作られたこのようなテキストを神さまはだんだんと広く活用されて行くのを知られたらワルゼン姉妹もどんなにか喜ばれることでしょう。

多分ワルゼン姉妹は聖徒の道でこの文を読まれると思いますが、私たち日本人同胞の未だ困難な開拓時代にある系図探求を今迄同様今後とも直接又は本誌を通じて御指導御鞭撻下さるようにお願い致します。

（渡部　記）

原稿募集

一、支部の動静　（四百字詰三枚）
一、信仰と証詞　（四百字詰三枚）
一、写　真　（支部の集会他）
一、詩、和歌、俳句（題　随　意）
一、〆　切　（毎月月末まで）
一、宛　先　伝道部編集部

神殿献堂式の祈祷

セント・ジョージ神殿

ダニエル・H・ウエルス

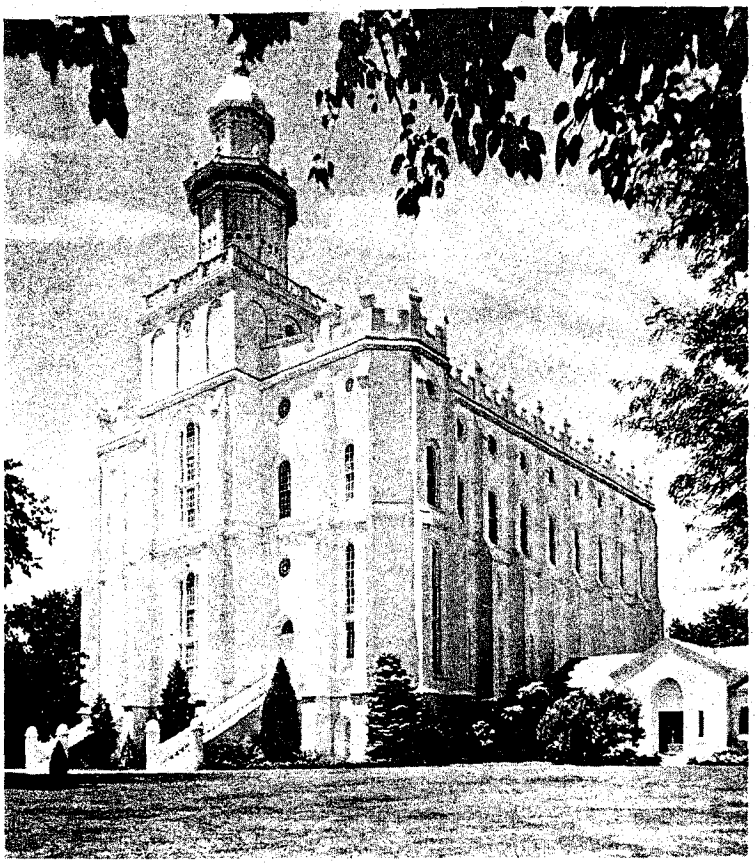
我々はまた玄関、石段及び手すりつき廻り階段をも献納する。お主よ、すべてを覆うている屋根がたてとなり襲い来るかも知れない暴風からこの建物を守らしめ給え。我々は屋根からの水を運ぶパイプを留め金及びその構成資材と共に献納する。我々はまた煙突、煙道、水道、及び下水渠、通風呂、扉、扉の窓ガラス、蝶番、釘、ねぢ、扉の鍵、把手、窓、窓の重り及び綱及びすべての附帯品、すべてのペイント、パテ、しっくい、のろ、及び内外のすべての飾りつけ、建物全体の建設と完成の為に用いられた土台から頂上迄のすべての物が我等の神なる主に聖なるものであるよう献納する。

聖なる父よ、我々は汝に聖なる洗い、灌油及びこの汝の聖なる家の儀式に用いられる設備及び道具、カーテン及びしきりわくを祭壇及びそのクッション、テーブル、椅子、床几、及び机がそれぞれの目的に従って用いられるように献納する。我々はまた庭の噴水塔、水道水を運ぶ管をも献納する。

我々は此の神殿の建っている一劃の土地を周囲をめぐらせてある垣を、その扉、門、留金、つるし具、締め具、其他これに含まれる材料と共にまた道路やこれに導く歩道をも献納する。

我々はクッション附き説教壇、周りの縁飾りを階段、手すり及びクッション附の席と共にまたそれ等が立っている床及び土台を潔め献納する。只我等の神、主に聖きもののみを除いて如何なる聖からざるものもまた不潔なものもここに入って来ることがないように。特に汝の僕が汝の召に従って仕えるべく、この説教壇を占めている時或は説教していようと又は勧告していようと或はまた汝の教会及び地上の王国の福祉に就ての事務を取扱っていようと汝の能力が汝の僕の上にあらんことを祈る。

我々は次々にこの家の内に集合して開かれる汝の民の数々の集会の上に汝の祝福があるように彼等が入って来る時又出て行く時汝の祝福と汝の御霊がここに在って彼等の慰安と教化の為に彼等の上に置かれ彼の心の内に豊かに注がれそして更に彼等が汝の通路の内に歩むべき汝の道を学び知るよう祈願し奉る。我々は汝の僕及び民を汝の懐に託し彼等が悪や無神者の勢力から守られるよう、また汝がその支配より我々を解放しこの谷間に堅固な山に伴ったあらゆる悪い対抗する勢力から守り保たれるよう望み奉る。



セント・ジョージ神殿

我々は汝を知り汝が我々の為にもたらせる大いなる救いを認めイエスの名により神なる汝に祈る。これ等汝の僕たちを又その民を受け入れ汝の最も聖なる内に我々を保ち給わんことを、汝の許より恵みと導きをほどこす天使を我等に遣し給え、而して我々が潔く聖なる道を歩み汝の目的を成就し汝の家に含まれるすべての儀式を執行し、全世界に散乱せる人の子たちが罪と真暗な束縛から贖われるように救いをもたらし、以て汝の王国をその完全なる姿に建て得るよう汝の栄光と能力を我等の上に注がせ給え。

我等の父よ。汝の僕ら及び民が汝に受け入れられる者であるよう、聖なる汝の御霊が汝の前に在る各人の心に充満するよう、我々の礼拝が汝の喜ばれるものであるよう汝の御心である意志である啓示が汝の僕ブリガムを通じ、また汝が聖なる神権を与えているすべての僕たちを通じて継続して明示されるよう祈り奉る。

我々は汝の前に言葉を積み重ねるべきではないと感ずる。何となればこの聖なる場所で汝の御前に集う特権を持った我々の霊魂の喜び、その感情を充分に表明するには言葉はあまりにも不充分であるからである。

おお神よ、我々の心からなる讃辞を受け入れ給え、而して今我々が高められた心と手を以て汝に嘉納されるよう聖き捧物として潔め献納せんとして列席している此の聖なる神殿の内に汝の平和と祝福を宿らしめ給え、この地の存する限りそれが純潔と神聖の記念碑として建つよう、汝の民なる我々に対する大いなる汝の善意を記念するものであるよう。而して汝の名がほまれと讃美と栄光に充たされるようイエスの名により汝に乞い奉る。

汝と祝福されたる我等の主、救主と聖霊とにすべての能力と威勢と主権を永遠に帰し奉る。アーメン。

（一八七七年四月六日）

結婚八十週年記念

一八七八年十二月十一日、朝日の光がさしこむと十七才のセレスチヤ・テリーは跳び起きて窓に走り寄った。彼女はカーテンを払いのけて街の向うのセントジョージの神殿を見つめた。

「あそこだわ、遂に私の結婚日が来たわ。今日、私はあの主の家に行って、此の世で又永遠にピーター・ピーターソンの妻になるのだわ」。長い金髪をくしけずる彼女の眼は輝いた。彼女は彼等が結婚式を挙げに此処へ来る旅費を支払う為に、フェアヴイユから八日間かかって穀物を運んで来た将来の夫の事を考えていたのである。八十年後の今日九十七才になったセレスチヤ・テリー・ピーターソンは感謝の念に溢れながら過去を振返った。穀物を運んだ牛車は遠い昔になくなってしまった。けれども、セント・ジョージの神殿と彼等の愛の光は当時と同様に燦然と輝いているのである。

一九五八年十二月十一日、全ユタ州否恐らく全世界で最長の結婚生活を続けて来たであろうピーターソン夫妻は彼等の結婚八十週年記念日を迎えたのである。この記念のお祝いは広く全米合衆国に亘り更に或外国の地に迄及んだのである。ピーターソン夫妻は毎朝祈を以て始まる二万九千日以上の過去を静かに思い起している。

ピーターソン姉妹の祝福師の祝福の中に「汝の住家は平和の住家となるべし」とあるがこの言葉はフェアヴイユに於けるピーターソン家の祝福された調和の中に証明された。その家庭は信仰と愛の上に建てられた平静なもので平安と善意のふんいきがただよっていた。十人の子供と四十七人の孫と百五十六人の孫、外戚をも含めて、三百二十六名の子孫に恵まれしばしばテーブルを並べて大家族会議も開かれたのである。

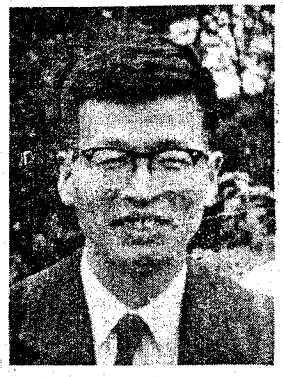
十人の子供を始め多くの家族が神殿で結婚し尊いこれ等儀式の記録は全部記念の書に記されすばらしい家族誌が編纂されつつあるのである。

或人がピーターソン夫妻に向って「八十年も御一緒に生活され随分長かったでしょうね」と言うとピーターソン兄弟は口を開いて「いいえあまり長くありませんね。私たちはセント・ジョージの神殿で永遠に結婚しているのですから、八十年のこの世の生活は一瞬間ですよ」と答えた。

ピーターソン夫妻結婚八十週年記念の記事は世界的なニュースとして朝日新聞等の日本の大新聞紙上にも写真入りで大きく掲載された。

ニュース欄

東中央地方部評議員に
傑推正三兄弟任命さる



東中央地方部日曜学校指導者らく推正三兄弟は去る十二月二十八日午後三時に伝道本部においてアンドラス伝道部長により東中央地方部評議員に任命された。

らく推兄弟は、一九一六年一月二日、三重県で生まれ、早大、青山にて法律、神学を学んだ後、プロテスタント（バプテスト派）の牧師になったが、一九五七年この教会をY・M・C・Aを通じ紹介を享け、六月六日、家族全員バプテスマを受けた。同年の十二月十八日に長老の職に召されたと同時に中央支部オ一副支部長の役につき、昨年秋地方部日曜学校指導者となり今日に至っている。

横浜支部の年末年始

一、教会堂改築

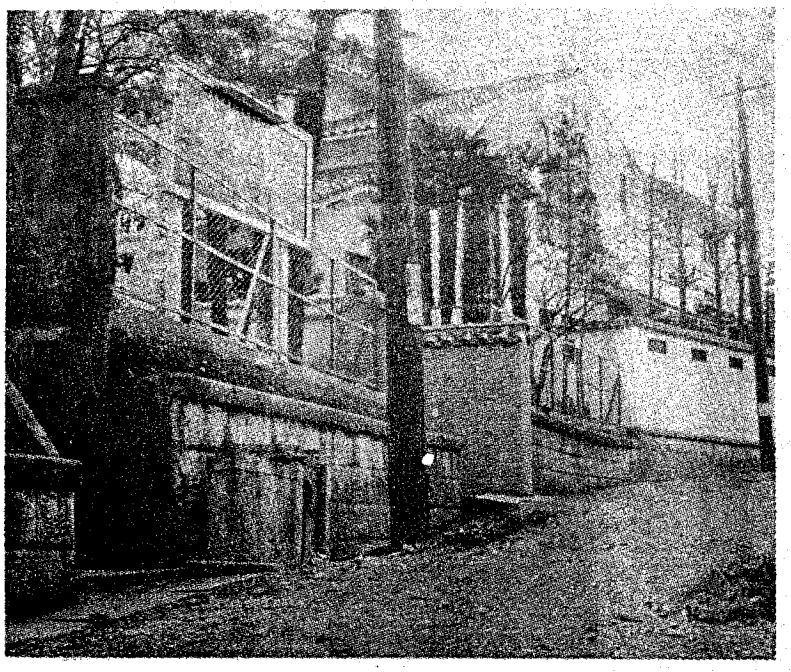
昨年十二月二十日、横浜支部では教会の建物の改築とホールの拡張工事も終り、その祝いのオープンハウスを開いた。ホールを始め、各クラスの勉強部屋、日本間、キッチンルームなどがすっかり面目を一新し、立派な建物となった。写真では教会の内部まで御覧いただくことが出来ませんが、私達支部の会員はこの幸福感を満喫しています。

二、新年会

正月三日、新年を迎えた私達は、総勢四十名程集まり、ゲームと新年の挨拶、それに近日渡米されるダンソン御夫妻の送別とをあわせて行いました。新年の抱負は皆思い思いだったが、やはり皆教会の中で楽しく、神の御業を遂行し、それぞれの社会での仕事に打込むこむこと、それに共同生活の気運が含まれて来たようだった。それにしても、元旦の本当に珍らしい大雪に、いやが上にも心の清まる正月でした。楽しい午后のひとときでした。

三、スキヤキ・パーティ

一月十日夜、教会建築資金のために催されたこのパーティーは、朝からの準備で大変だった。米軍家族を主体に、四十名程のにぎやかな催しだった。この催しは恒例（正月）ですが、毎年軍の移動やらで、御客様が変るので一寸さびしい気がしています。同時に行われた扶助協会のバザーも盛会でした。



左の写真は改築と改装成った横浜支部教会堂

ハワイ・ライエにおいて……
……当教会の大学献堂さる

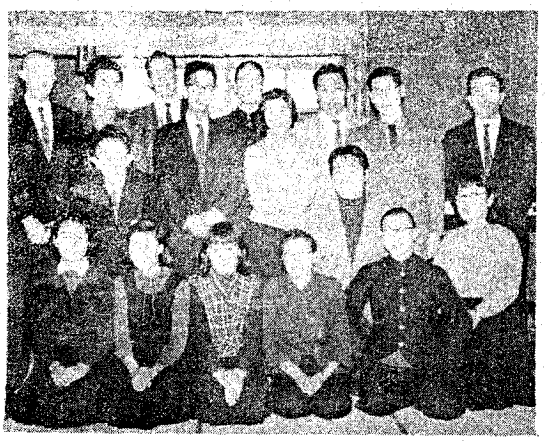
三百五十萬ドル（十二億六千萬円）の費用を以て新しく建てられたハワイに於ける当教会の大学は、千九百五十八年十一月十八日にライエで献堂式が行われ、大管長デビド・O・マッケイおよびマリオン・G・ロムニイ長老がソルト・レーク市から教会の幹部を代表して献堂式に列せられた。

この建物の献堂までには、マッケイ大管長がさきに末日聖徒イエス・キリスト教会の教育施設のためにくわ入れ式を司会されて以来三年と十箇月を要した。

クイン知事、ブレイズデル市長ハワイ諸島の学校監督代理デイール・クルッカーおよびハワイ大学総長ローレンス・スナイダーの諸氏を含む高官が当日の演説者および特別の来賓として招待された。数々の式は講堂に於て大学管理者代理リチヤード・T・ウットン司会の下に催され、十二使徒会の一員である上に教会の教育委員会の会員であるロムニイ長老は、「末日聖徒イエス・キリスト教会の教育に於ける理想と目的」と題して演説を行われた。またオアフ・ステーキ部長、太平洋教育委員会の会員、大学総長の諮問委員会の委員長であるエドワード・L・クリソールド長老は「ハワイに於ける当教会の大学を設立するに就ての努力の歴史」と題する演説をされた。また太平洋教育委員会および教会の建築委員会の委員長であるウエンデル・B・メンデンホール長老は、篤志労働伝道団に就てすばらしい話をされた。

マッケイ大管長の献堂式の祈りと演説が行われるに先だって会衆は「感謝す予言者」の讃美歌を唱い、その後建築監督者ジョセフ・E・ウイルソンは管理者代理ウットン兄弟へ「学校の鍵」を手渡した。開会の祈りはオアフ・ステーキ部の祝福師であるアーサー・パーカー兄弟（フランシン・パーカ・アンドラス姉妹の父君）が、閉会の祈りはこれもまたオアフ・ステーキ部の祝福師であるユージェヌ・ヒルトン兄弟が捧げた。その後直ちに学校の講堂で献堂式が催された。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　旭川支部便り　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊



意義深い十二月を迎えました。、ザー民謡）を聞き、とても愉快な時間を過しました。参加者十七名

いつも旭川支部の上に神様のお恵みがあります事を心より感謝しております。十二月十五日、私達の手で教会堂を建設する為に、神権会主催で資金獲得の為に食べよう会を催しました。求導者の方々や遠方で働いて居られたなつかしい兄弟をもまじえて、皆楽しい夕べを過しました。食事は北の国ならではの美味しい豚じるでした。食後は楽しいゲームがあり、世界の大使達や、言葉遊び等をし、レコードイタ（イ

十二月十五日（ＭＩＡ主催のクリスマスパーテイ）

参加者約九十名

十二月二十七日浸礼式

神様のお恵みと導きのもとに、強い信仰と証しを持った兄弟姉妹（倉見兄弟、池田姉妹）が誕生しました。私達は又、自分がバプテスマを受けた当時を思い出し、信仰と証しをより強める事が出来ました。（島崎　道子）

バザー成功裡に開く

岡町支部では十一月二十九日（土曜日）改築なった大広間で建築資金募集のためのバザーを合同にて開く。初めの計画は扶助協会会員の夏休み中の手芸作品のみを売る小規模のバザーを扶助協会員のみの手で会員方に買ってもらう位を予定していたのであったが、途中から変更になり、日曜学校、ＭＩＡの役員全体の力を協せて広く社会に入場券を売って当教会の存在を知って頂くと云う方法を採る事になり会員一同一生懸命に努力して一枚二十円で約千枚を売った。一方また一部の熱心な役員は当日の入場者にお土産として差し上げるための物を、田辺製薬其の他の製薬会社等の宣伝部を訪問してサンプルや子供用おもちや等の寄附を募るため東奔西走した。

さて当日はケーキ、菓子、くだもの、乾物類、造花、クリスマス用品、毛糸たこ糸の類、さては高価な反物類や帯など直接の商人が入ったり、委託品を売ったり、食堂では、いなりずし、うどん、ジュース、ぜんざい等の売れ行きもよく、まだまだほしい人の有るのに早くも売れきれに成ったほどで、第一回のテストケースとしては大成功を博し約五万円の純益金を得た。

☆ウエタカ長老来訪、十二月二十日、ウエタカ副伝道部長、本部より当支部を訪問せられた。前に永らく当支部に居られたので久しぶりの対面を喜ぶ者が多かった。

☆クリスマス二十四日、クリスマスキヤロルで夜六時半より約五十名にて岡町周辺を歩き歌う。翌二十五日、夜六時よりクリスマスパーテイを開き寸劇その他クイズ、プレゼント交換あり、後ダンス。参加者約四十名。

☆ダンス・パーテイ、同二十七日夜は阿部野、三ノ宮、西宮からも岡町支部に集り、大ダンスパーテイを開く、四支部合同なるため一層に興味ありて振わう。

（阪本幾代）

（お知らせ）

伝道本部の電話番号が下の如く変更された

新番号（東京４７３）１６１３番

旧　（三田局）　１６１３番

（電話局番変更）

伝道本部だより（十二月卅一日現在）

宣教師異動

D・ラマー・ワルペック	長老	巡回長老
新後閑義雄	長老	岡町
エドワード・J・ウエルス	長老	横浜
トマス・ヘーグ	長老	東京南
ロバート・ナルアイ	長老	東京南
ロバート・スタウト	長老	那覇
セルドン・C・グツデイ	長老	岡町
リーロイ・フライ	長老	東京中央
レスター・ステイヴンス	長老	東京南
ジエームス・ブラツドシヤウ	長老	東京南
ジョー・イケダ	長老	新潟
チヤールス・グリフイン	長老	岡山
ロバート・スラツク	長老	柳井

バプテスマ

木谷恵子	阿倍野	支部
田中静子	阿倍野	支部
池田弘子	旭川	支部
倉見光男	旭川	支部
玉利和子	福岡	支部
森山紹春	普天間	支部
嘉納昌伸	普天間	支部
沖村早苗	広島	支部
築田博	広島	支部
前川信幸	金沢	支部
竹沢清子	金沢	支部
浅井成子	金沢	支部
福本英子	那覇	支部
具志堅秀子	那覇	支部
西山雅子	新潟	支部
高田外二	新潟	支部
豊島久美子	西宮	支部
越野ひさ子	西宮	支部
小川美貴子	岡町	支部
大塚ヨシ子	岡山	支部
近藤泰典	岡山	支部
三島実	小樽	支部
大沢君恵	小樽	支部
神田隆	小樽	支部
松岡一夫	三宮	支部
杉本政穂	三宮	支部
西嶋吉春	札幌	支部
林茂子	札幌	支部
高橋周子	札幌	支部
高橋良臣	札幌	支部
吉田康典	札幌	支部
寺井健一	札幌	支部
川村功	札幌	支部
板垣又[illegible]	仙台	支部
小林整功	仙台	支部
小松原邦臣	東京中央	支部
奈良隆明	東京中央	支部
堀静雄	東京南	支部
木村[illegible]子	東京南	支部
小林昭代	東京南	支部
小林義明	東京南	支部
安藤[illegible]子	山形	支部
高橋豊	横浜	支部
羽鳥孝治	横浜	支部
伊藤初栄	横浜	支部
島村司	横浜	支部

この外韓国において二十六名。

神権授与

執事	橋本一乗	阿倍野
祭司	川崎英一	室蘭
祭司	安井福司郎	西宮
祭司	細田泉	西宮
執事	山田義明	岡町
執事	小林学	岡山
執事	阿部[illegible]	仙台
執事	深沢暢浹	東京中央
執事	井上弘	東京南
長老	早川喜春	東京西
祭司	石谷忠三	山形
祭司	佐藤一三	東京北

外に韓国にてアロン神権の祭司に三名、教師の職に二名聖任され、新に執事の職に召された者四名あった。

誕生と祝福

引寺なおみちゃん（達人、純子兄弟姉妹の息女として一九五一年二月二十二日誕生）は昨年十一月三十日広島支部においてピーター・K・マウガン長老により祝福された。

大塚義也（ヨシュア）ちゃん（昌治、日奈子兄弟姉妹の長男として一九五八年十一月一日高崎市にて誕生）は昨年十二月二十一日東京北支部において父君たる大塚昌治兄弟により祝福された。

林陽子ちゃん（義美、まき子兄弟姉妹の息女として一九五三年八月三十一日横浜にて誕生）は昨年十二月七日仙台支部において福田濃兄弟により祝福された。

渡部正末ちゃん（正雄、久子兄弟姉妹の子息として昨年十月十九日横浜にて誕生）は十二月七日横浜支部において父君たる渡部正雄兄弟により祝福さる。

竹市ひとめちゃん（進、とも子兄弟姉妹の息女として昨年十一月二日札幌支部においてステイヴン・B・エリス長老により祝福された。

婚結

金田得一兄弟は昨年十月十日英久美子嬢と結婚した（東京北支部）

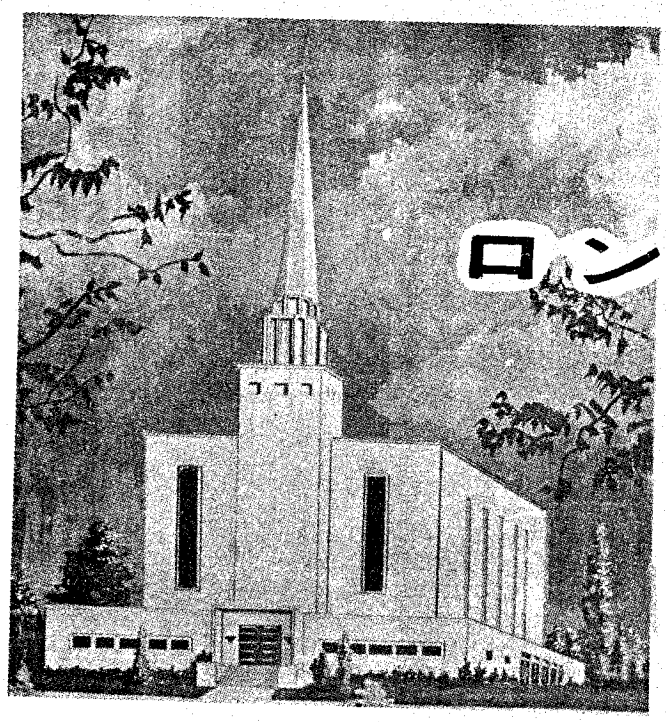
桑野文子姉妹は昨年十月十四日小林周三君と結婚した（金沢支部）

岡田みち子姉妹は昨年四月七日南雲信光君と結婚した（東京南支部）

新井栄子姉妹は昨年四月十九日横浜支部においてポール・G・モイヤー兄弟と結婚式を挙げた。

地方部大会

沖縄	二月十四日十五日
東中央	四月四日五日
西中央	四月十一日十二日
北海道	四月十八日十九日
韓国	五月二日三日



ロンドン神殿献堂式

Ⅱ

ドイル・L・グリーン

我々が始めて神殿の全貌及び三十二エーカーの境内を見る時、深い満足を覚えるのである。

緑の草と荘厳な樹々、美しい種々の灌木、映え光るプール、豪華に咲き乱れた花、人々はこれ以上に美しい神殿地区を見出すことは困難であろう。我々はこの神殿が今日完成したばかりであるのに周囲の芝生が非常によく生えそろっているのに気付き、それが種から成長したのでなく芝生そのものが植えられたのであることを覚った。我々は神殿そのものは夜に見ようと或は昼に見ようと霊感された感容であることを発見した。地上に保存された美しい老樹が建物をふくめてうっとりとするような光景を作り出し（一本のかしの木は樹令四五〇年と見積られている）暗くなってから建物に光を投ずるフラッドライトは忘れ難い光景を展開させている。

我々は建築技師エドワード・O・アンダーソンから建物の建築に就て何か聞くことを喜びとした。彼は過去三ヶ月間、ここに居て、最後の仕上を監督したのであった。

建物は幅八四呎、長さ一五九呎で塔の高さは地上より一五六呎九・五呎ありその尖塔は鋼鉄で出来ている。地上の煉瓦工事の壁はポートランド石灰石を以て表面を被せてある。地階の床と壁は全部防湿用に出来ており、下地骨に石こうを採用して壁が湿気を含むのを防止している。神殿の内部は光が反射しないように美しいパステルを以て落付いた色合を保っている。大部分の部屋が壁の表面をたやすくきれいにすることが出来るようにウイニール地にしてある。一階二階の床の材料はビルマから英国に運ばれたチーク材及びチークベニヤを使用している。アヴオダイヤ扉の表面及び底板のアグバ材は共にアフリカから運ばれ或桜の板が建物の他の部分に使用されていた。我々は照明設備、椅子、長椅子更にじゅうたん迄すべてが英国の特長を生かしたアンダーソン兄弟の設計になるものである事を知って、興味深く感じた。

建物の中には五八の完成された部屋及び、五の未完成の部屋がある。地下室の浸礼盤は光ったステンレスの鋼鉄で造られ十二頭の青銅の牛の背によって支えられている。

我々がこの単純で而も豪華な造作である愛すべき建物を見ている時七六・三二〇名の神殿の訪問者たちが我が宣教師たちに伴われて静かに建物内を通って行った時、如何に思ったであろうかと考える。

神殿は二週間半に亘って訪問者に解放された。この建物と冷い昔の墓のような構造のウエストミンスター寺院とは誠によい対象である。訪問し終って外に出てから多くの質問がなされた、また多くの宣教師が教会の事に就て話すように訪問者の家庭に招待されて行った。

……

さて献堂式の最初の日が訪れた。それは、九月七日、日曜の午前十時であった。英国伝道部の会員及び公式のお客さんたちが約二千人ほど集合した。

この劃期的な式に八人の教会幹部が列席した。一八四〇年十二使徒会の大部分の者が英国に在った時以来このように多くの教会幹部が時を同しくしてヨーロッパに集ったことはなかった。

我々は演壇の後に坐を占めている、ジョセフ・フイールデイング・スミス十二使徒会　会長並に十二使徒会員のヘンリー・D・モイル

長老、リチャード・L・エヴアンズ長老、ヒュー・B・ブラウン長老、十二使徒会補助のエルレイ・L・クリスチャンスン長老、及びゴルドン・ヒンクレイ長老、管理監督会第一副監督ソープ・B・アイザクソンを見た。また参列席にはこれ等兄弟たちの夫人方及び教会史補助のプレストン・ニブレイ長老、ロンドン神殿建築技師のエドワード・O・アンダーソン長老及び夫人、前英国伝道部長大管長会補助書記A・ハーマー・レイサー長老、前英国伝道部長でロンドン神殿の管理会長のセルヴオイ・J・ボイヤー長老がその夫人、神殿保母のグレーデイス・ボイヤー姉妹と共に居り、またクリフトンG・M・ケル部長とケル姉妹及び其の他の者が居合せた。この人々は参列者の内の著名なる人たちである。

・・・・・・・・・・・・・・・・

マッケイ大管長が部屋に入って来ると集合していたすべての参列者は神の予言者に敬意を表するために立上った。彼の指示によってこの神殿地域は選ばれ、建物は建築され、また彼によって六回に亘る献堂式の集会に於ける挨拶と祈禱がなされるのである。

今や参列者一同は着席しケル部長は演壇に前進した。マッケイ大管長はケル兄弟にこの開会を司会するように合図した。

ケル部長は口を開いて語った。

「今日茲に曽て生きた、また現在生きている数千万の教会の人の希望と夢と望みが答えられたのであります。今日茲に主の家がブリテン島に建つと語った教会の予言者たちの予言的証言が答えられたのであります。これは主イエス・キリストの再臨の方向に向っての、また新しき一歩である。教会の眼は今日我々の上にあります。単に教会のみならず全世界の眼が我々の上にあります」。

神殿の階段で悦びに充ち溢れた若人達と握手を交すマッケイ大管長

集会に於ける音楽はシエフイールド及びマンチエスター地方部合同聖歌隊によって提供された。最初の歌は、〃れいめい〃第二番目の歌は〃主の家は聖められる〃開会の祈りはエルレイ・L・クリスチャンスン長老、ケル部長は最初の語り手であった。

英国に於ける教会活動に対する関心の増大を予告して彼は言った。伝道部がその切り抜き部局より受取ってファイルしてある新聞紙の切り抜きを彼が数えたところ三ケ年間に、教会と其の活動並に神殿に関するものが五百一枚もあった。彼は神殿の一般公開期間中に七万六千三百四十名の者が訪問したと語り、宣教師たちはこのように心の開かれた人たちと語ったことは以前に経験出来なかったことであったと報じていると告げた。

レイサー兄弟は二番目の語り手であった。そして神殿地域の購入の歴史、マッケイ大管長の財産視察及び鍬入れ式等に就て語った。

「此の建物の献堂式によって今日より此の国にかける蓄積は更に増大されるであろう」

このように彼は断言した。

次の語り手は、エドワード・O・アンダーソン兄弟で彼は神殿の建物に就て又単に建築期間中のみならず一般公開期間中に生じた霊感される事項に就て語った。

神殿に入るに先立ち集った群集に手を振って答えるマッケイ大管長

特別のお知らせ

伝道部長として私はいつも教会の会員方や教会の友人方とお会いすることを喜んでいますが、それと同時にほかの責任がたくさん伝道部長の肩にかかっていてこれを遂行しなくてはなりません。できるだけ多くの会員やそのほかの方々とお会いし、一方同時にその他の私の責任を果すために、私に会いたいすべての方々に伝道本部へ来る前に何時会うか会合の取極めを願うことが必要であります。伝道本部へ来る前に会合の取極めをして下さるならば、私が東京に居なかったりそのほかお会いできないときに私と話ができないという失望を防ぐこともできます。それで伝道本部へ訪問して下さる前に電話か手紙で会合の取極めをして下さるよう、どうぞ御協力をここにお願いいたします。

（ポール・C・アンドラス）

俳句

西支部十二月句

秀題　霜　毛糸

冬木立黒衣の女や霜の朝　田中兄弟
自転車にくずれて光る霜柱　早川兄弟
かきの葉の散り尽したる寒さかな　磯田兄弟
朝もやにたきびの煙のとけにけり　磯田兄弟
霜柱足でくずして故郷想う　勝又兄弟
母と子の買物カゴの毛糸玉　勝又兄弟
新しき毛糸のタビや父なき子　勝又兄弟
暇々に編みしショールを手にしたり　小室姉妹
編物機冷たく光るひざの前　小室姉妹
よろこびの日を待ち遠に毛糸編む　小室姉妹

編集言

◎たしかに、日本こそは、真のキリスト教会たるわがモルモン教会を宣布する、最適の土地である。

◎さればこそアンドラス伝道部長は、会員一人一人が一人の新しい信者を教会へ導き、二千人の新会員を獲得するのが本年の目標だと喝破せられた。

◎一人が一人の新会員を獲得するのはさして困難ではないはずです。それにしても其の手はじめは「聖徒の道」を広く売りひろめることである。

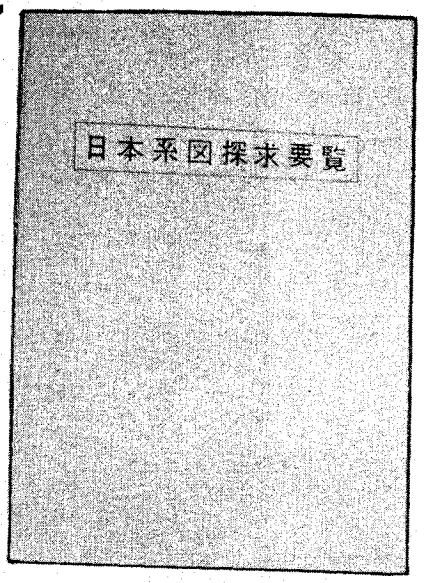
◎今年は私たちの協力が、二千部売ることに成功するかどうかの試金石となる年でしょう。

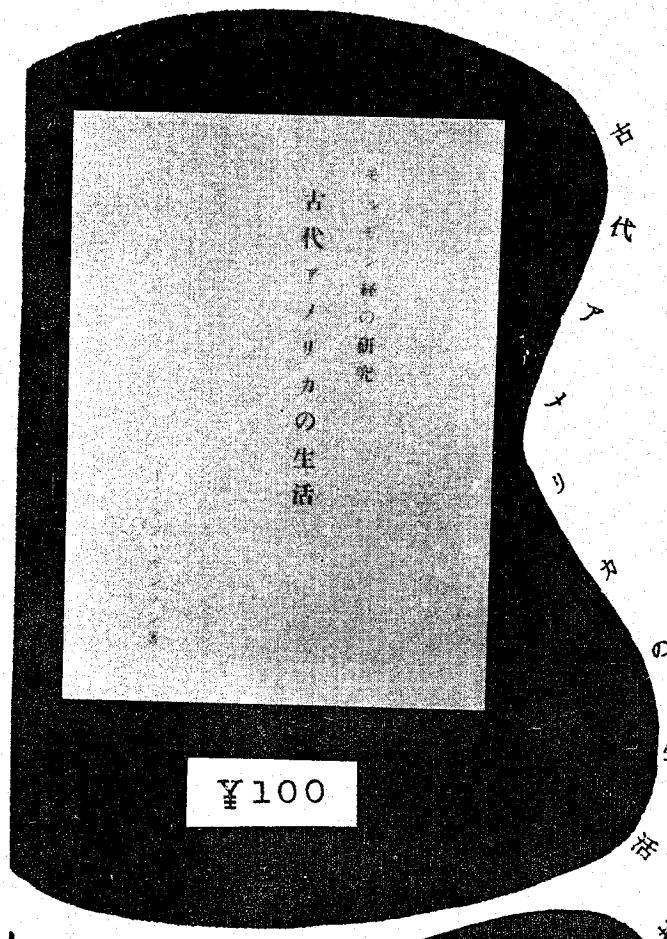
月刊　「聖徒の道」　第三巻第二号
一九五九年二月一日発行
（定価）一ケ年三百円　一部　三十円
編集人　ポール・C・アンドラス
発行人
発行所　東京都港区麻布広尾町十四
末日聖徒イエス・キリスト教会
北部極東伝道部

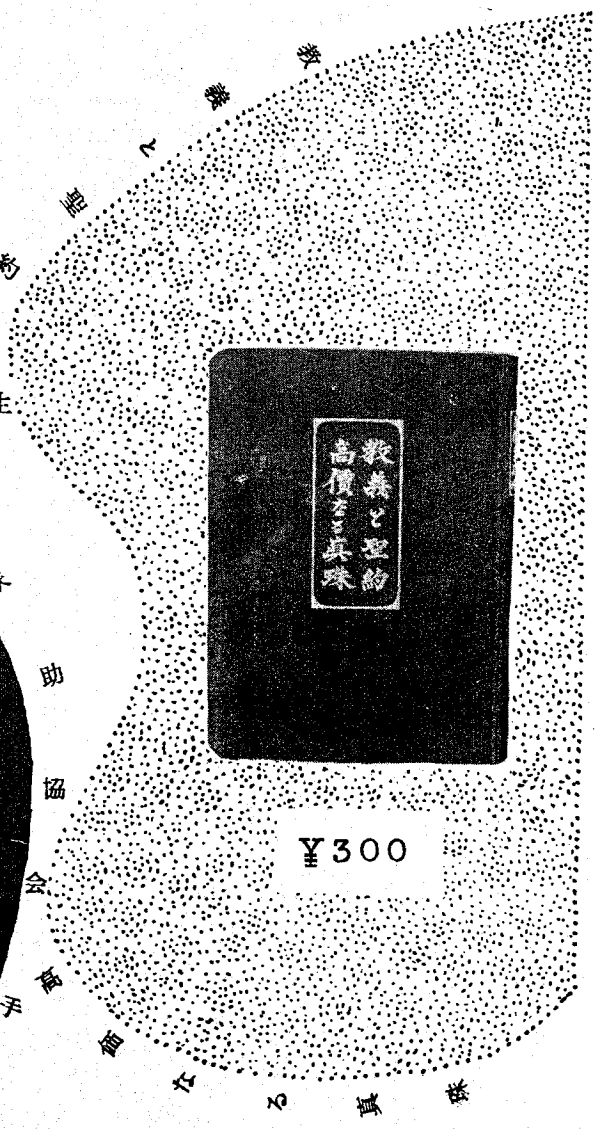
日本系図探求要覧

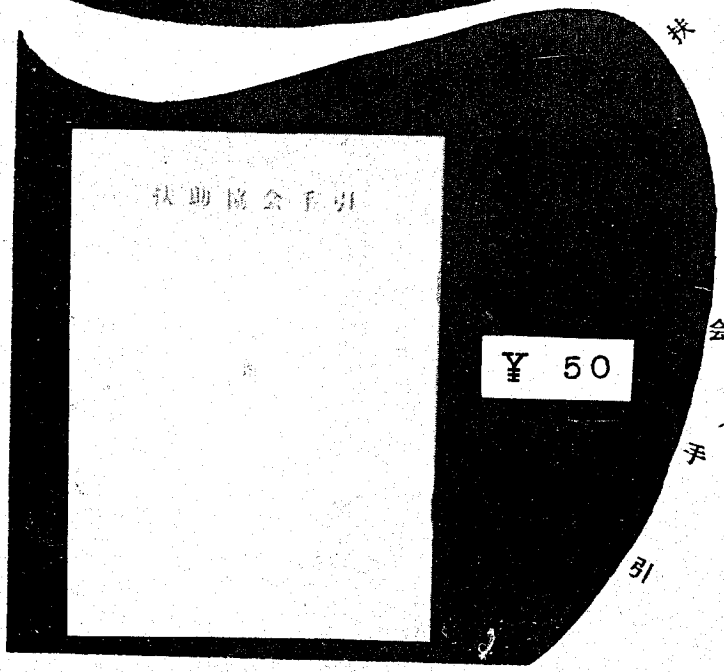
ジョイス・C・ワルゼン著

¥100

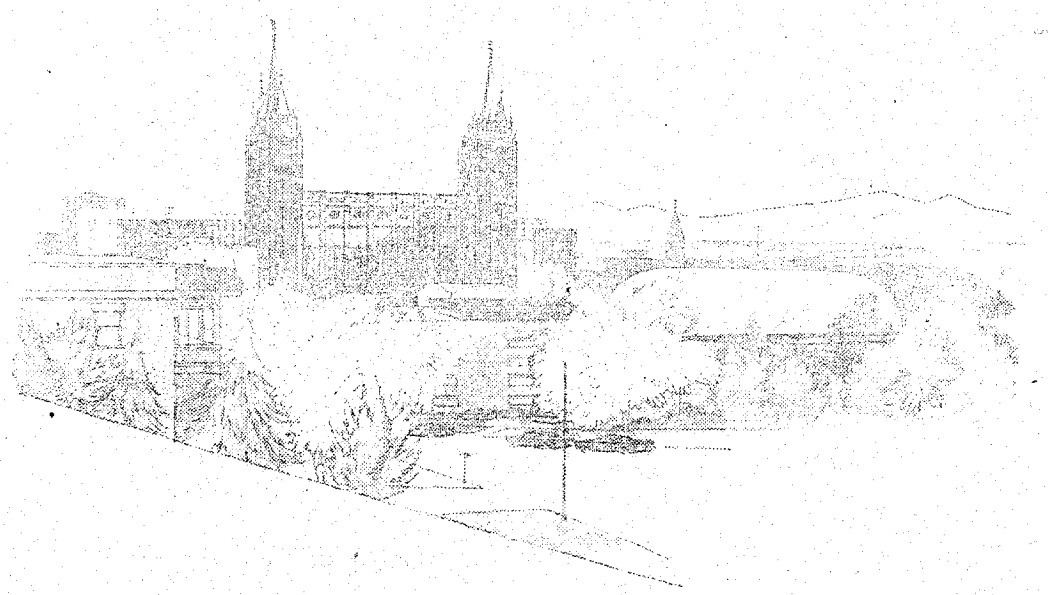








一九五八年三月十七日発行人



末日聖徒イエス・キリスト教会